

陸連時報 三

2013
平成25年 11 月号

題字は平沼亮三(初代陸連会長)の書

目 次

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催決定を受けて(会長 横川浩).....	198
東京オリンピックの開催決定を受けて(専務理事 尾縣貢).....	199
理事会報告.....	200
強化関連情報(強化委員会)	
第40回全日本中学校陸上競技選手権大会報告(強化委員会強化育成部長 山崎一彦).....	202
第21回日韓中ジュニア交流競技会に参加して(陸上競技選手団監督 正川澄夫).....	202
第1回世界リレー選手権大会(2014/ナッソー)に向けた ナショナルリレーチームの編成について、および代表選手選考方針.....	203
砲丸投クリニック受講者募集.....	204
アジア陸上競技連盟総会/国際陸上競技連盟総会報告(事務局).....	205
施設用器具委員会報告(13-1)(施設用器具委員会).....	206
功労章・秩父宮章・高校優秀指導者章・中学優秀指導者章・ 勲功章・競技者育成章.....	208
大会観戦ガイド.....	211
陸協NEWS.....	212
事務局からのお知らせ.....	214

公告

「陸連時報」は公益財団法人日本陸上競技連盟定款第4条第6号の「機関誌」の性格を有するものですが、毎月「陸上競技マガジン」と一体として発行しています。陸上競技に関する啓発記事のほか、必要に応じて、評議員会、理事会の決定事項、各専門委員会、事務局からの報告、通達も掲載いたします。本時報に掲載した通達は、公式に通達したものと取扱わせていただきますので、登録競技者は本時報の掲載内容にご注意下さい。また、陸上競技指導者の方は、所属競技者にお知らせ下さるようお願い致します。

公益財団法人日本陸上競技連盟

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催決定を受けて

会長 横川 浩



2013年9月7日（日本時間8日）、アルゼンチン・ブエノスアイレスで開催された国際オリンピック委員会（IOC）総会において、2020年、第32回オリンピック競技大会・第16回パラリンピック競技大会の開催都市として、「東京」が

決定した。私は、この決定を総会の会場で迎え、歓喜に満たされた思いとともに、非常に身の引き締まる思いを感じた。

戦後復興の象徴となった1964年の東京オリンピック。私は、東京の高校生だった。日本選手団の連日の活躍をテレビで観戦し、熱い声援を送り、選手達の雄姿に憧れたものである。そして56年という長い年月を経て再び東京に聖火が灯ることは、スポーツ界に身を置くこととなった一個人としてだけではなく、陸上競技界にとってもこれ以上ない喜びである。

さて、7年後の夢の祭典に向け、本連盟としましては、さらなる選手強化・競技普及を目指し邁進して参る所存である。

特に2020年には、日本陸上の中核を担うことになるジュニア・ユース世代の強化・育成が重要である。

昨年のロンドンオリンピックでは「メダル1、入賞2」という結果に終わり、さらに一層の奮起が求められた。今夏、ロシア・モスクワで開催された世界選手権での成績は、「メダル1、入賞7」であり、設定した目標は達成することが出来た。数年来のジュニア・ユース世代の強化・育成は、徐々に実を結び始め、世界ジュニア選手権・世界ユース選手権等で活躍する選手が日本トップアスリートに成長し、世代交代が進みつつある。若い世代をしっかりと育て上げ、オリンピックを見据えて世界の舞台へと飛躍させるため、国際的な競争力を身に付けさせる施策の構築が必要である。

また、「マラソン日本の復活」は、オリンピックでの重要課題である。2004年のアテネオリンピックで野口みずき選手が女子マラソンで金メダルを獲得して以来、日本のお家芸と言われていたマラソンで、2009年のベルリン世界陸上で尾崎好美選手、本年のモスクワ世界陸上で福士加代子選手がメダルを獲得し、復活の兆しが見えつつあるが、楽観視は出来ない。好記録を持っているケニア・エチオピア等のアフリカ勢にどう酷暑で勝負をしていくか、本当に強い選手を強化・育成していくことが急務である。

開催国の活躍は、大会を盛り上げる最大の要因であり、また、この盛り上がりこそが、将来日本を背負って立つ若者たちの大きなエネルギーとなるであろう。

また、オリンピックレガシーとして後世に何を残していくかも重要となる。まず、施設整備について、競技会場としては、現在の国立競技場を改修し新たな競技場が建設されることとなっているが、練習会場として使用される各施設を含め、将来にわたって有意義に活用していくことの出来るような整備が進むことを考えて参りたい。

次に、陸上競技の普及としては、昨今子どもたちの体力低下など、スポーツ離れが盛んに言われている中、スポーツの基本となる陸上競技の果たす役割として、地域での普及をこれまで以上に多角的に行い、スポーツを行う「場」の提供、仕組み作りなどに組み込みたいと考えている。

そして、あらためて陸上競技界全体の国際化の推進もその一つとして加えたい。すなわち、競技者はもとより、陸上競技を支えるより広範な関係者の国際性の発展である。ロンドンオリンピックでは、素晴らしい競技運営のみならず、スポーツを愛する国民によるボランティア活動の質の高さを感じた。おもてなしの精神の下、世界各地から選手のみならず、観衆として東京に来られる方々に心に残る大会であったと感じてもらうため、人材の育成を始め、準備を行っていきたい。

スポーツを取り巻く環境は、社会経済環境ともきわめて密接に関連しており、厳しさを大きく含みながら変化をしている。もちろん、陸上競技界としてその例外ではなく、むしろこの大きな変化に機敏に対応し、乗り越え、スポーツ界を牽引する役割を果たしていかなければならない。オリンピック開催というきっかけを契機に、シンボリックに施策を打ち出し、それらを成し遂げていく基盤となる組織の充実、地域や関連団体との連携をより進め、多くの関係者とともに歩み、取り組んでまいる所存ですので、皆様のご理解、ご支援をお願い申し上げます。

終わりに、2020年東京オリンピック・パラリンピック招致に関わられました関係各位のご努力に深く敬意を表しますとともに、地元開催のオリンピックを通じて日本陸上競技界・日本スポーツ界の発展、スポーツ文化の振興に寄与できるよう、本連盟全体を挙げて尽力して参ります。

東京オリンピックの開催決定を受けて

専務理事 尾 縣 貢



真のスポーツの発展を目指して

ジャック・ロゲ会長の「Tokyo」というコールは、わが国におけるスポーツの新たなスタートを示す号砲となった。2020年東京オリンピックを目標に定め、7年という限られた時間の中で、真のスポーツの発展を目指しての取り

組みが始まったと言える。

ここで言う真のスポーツの発展とは、わが国のスポーツの地位を向上させることを意味する。2011年8月に施行されたスポーツ基本法の前文の冒頭には、「スポーツは、世界共通の人類の文化である」という一節がある。国民が当たり前スポーツを文化と思えることがスポーツの地位の向上につながり、その土壌の上で開催するオリンピックにおいてこそ真の成功が得られるのである。

昨年のロンドンオリンピックは、まさしくスポーツ文化の集大成として花開いたビッグイベントであり、競技そのものだけでなく、大会運営、観衆のマナーの良さと熱狂的応援、質の高いボランティア活動や安全確保に対する取り組みなどは非の打ち所がなかった。スポーツを文化として敬う国民の姿に羨望をおぼえるほどであった。誰もが認める成功例であるロンドンオリンピックを超える大会をつくりあげていくという気概を持って準備に臨んでいきたい。

国際競技力の向上

オリンピックは人類すべてのスポーツの祭典であるとともに、国の競技力を競う舞台でもある。開催国の活躍は、大会の盛り上がり左右する重要な要因であり、また、この盛り上がり老若男女の心を元気にするエネルギーになるであろう。そこで私たち競技団体は、これまで以上のエネルギーを競技力の向上に注いでいく必要がある。

本連盟では、これまで国際競技力の向上を目指し、中長期計画の元に強化育成活動を展開してきた。2008年の北京オリンピック後に、それまでの競技者育成プログラムを大きく改訂し、短期・中期目標を達成するための諸施策を打ち出してきた。そして、2011年に小修正を加えた後に、この7月には昨年のロンドンオリンピックの結果を踏まえて、リオデジャネイロオリンピックに重点を置いた競技者育成プログラム改訂版を発行した。
(<http://www.jaaf.or.jp/athleticclub/fukyu/program.pdf>)

これまでの活動を礎とし、2020年東京オリンピックに向けて、新たに「何ができるか」「何をすべきか」を

協議し、競技者育成プログラムに反映させていきたい。しかも、2020年の東京オリンピックのみに焦点を置いたものではなく、それ以降の陸上競技界全体の発展につなげることを目指す必要がある。強化育成のターゲットは、現在の中学生以上になると考えるが、その下の世代の子どもたちも陸上競技に対する興味・関心を持ち、そして気軽に陸上競技を始められるような状況をしつらえていくことも大切である。

オリンピックに向けての活動の骨子

2020年東京オリンピックへのロードマップを作成していくうえで、以下にあげることが骨子になると考える。

1. 味の素ナショナルトレーニングセンターを中央拠点としたうえで、それぞれの地域に拠点を置き、陸上競技の普及を図る中で有望なタレントを獲得していく仕組みをつくっていく。
2. それぞれの地域で競技者の強化育成を円滑に進めるために、競技者の所属先の学校やクラブ、都道府県陸協と本連盟との連携を図っていく。
3. 日本中学体育連盟、全国高等学校体育連盟、日本実業団陸上競技連合、日本学生陸上競技連合とのより強い協力体制を構築し、団体の枠組みを超えて一貫性のある強化育成活動を展開していく。
4. 本連盟の科学委員会、医事委員会の協力のもと、チーム「ニッポン」マルチサポート事業の活動を活発化する。
5. オリンピック開催予定期日が7月24日から8月9日であるため、暑熱環境対策を徹底的に推進する必要がある。具体的には、高温多湿の環境下で実力を発揮できる競技者の育成、及びそのような競技者を選出することができる選考方法を検討することなどである。特に競技時間の長いマラソンおよび競歩種目では、その重要度は高くなる。
6. 強化育成を促進するような主催競技会、後援競技会のあり方を開催期日や実施種目などの観点から検討する。
7. 競技者の目標達成のために効果的なサポートを行うことができる指導者の育成を進める。特に、地域で競技者育成にあたる指導者の資質能力の向上に取り組むことは急務である。

2020年の東京オリンピックに向けては、わが国のスポーツ界の総力を結集して、迅速にしかも着実に準備を進めていかなければなりません。関係の各位には、今後より一層の御支援御協力を賜りますようお願い申し上げます。

理事会報告

第16回理事会

日時：2013年9月18日（水）14時00分～16時30分

場所：小田急第一生命ビル11階会議室

【議題】

《協議事項》

1. 2014年度主要競技会日程
2. 第1回世界リレー選手権大会（2014／ナッソー）代表選手選考

《報告事項》

1. 第14回世界陸上競技選手権大会（2013／モスクワ）結果報告
2. 国際競技会結果報告
 - （1）第20回アジア陸上競技選手権大会（2013／ブネー）結果報告
 - （2）第8回世界ユース陸上競技選手権大会（2013／ドネツク）結果報告
 - （3）第2回アジアユースゲームズ（2013／南京）結果報告
3. 第20回アジア陸上競技連盟総会報告
4. 第49回国際陸上競技連盟総会報告
5. 第21回世界ハーフマラソン選手権大会（2014／コペンハーゲン）選考競技会
6. 第12回アジアクロスカントリー選手権大会 開催概要
7. 2014年度後援競技会
8. コンプライアンス委員

【議事内容】

開会に先立ち、風間事務局長より理事定数29名に対して、出席者数24名で本理事会が有効に成立している旨を報告し議題に入る。尚、1名遅刻出席のため、合計25名出席となった。

《協議事項》

1. 2014年度主要競技会日程
尾縣専務理事より、9月18日現在の日程説明があった。
5月に第1回世界リレー選手権大会が、ナッソー（バハマ）で開催される。
国民体育大会の日程が「長崎くち」の関係から、10月中旬に開催されるため、日本ジュニア選手権と日本ユース選手権が10月上旬に、ジュニアオリンピックと日本選手権リレーが10月末から11月上旬にかけて開催される。
- 国内競技会で期日などが未定の競技会
 - ・ゴールデングランプリは、5月に予定しているが場所と期日は未定。
 - ・日本ジュニア室内は、会場の大阪城ホールが改装で利用できないため対応を検討中。
- 国際競技会で期日が未定の競技会
 - ・新たに日韓中の対抗戦を検討しており、7月頃に予定しているが場所と期日は未定。
 - ・日韓中ジュニア交流競技会は、8月に北上（岩手）で開催され全体の期日が決まっているものの陸上競技の日程は未定。
 - ・アジア競技大会は、9月に仁川（韓国）で開催され全体の期日が決まっているものの陸上競技の日程は未定。
2. 第1回世界リレー選手権大会（2014／ナッソー）代表選手選考
原田強化委員長より説明があった。
世界リレー選手権大会がバハマ（ナッソー）で開催されることになった。
世界陸上競技選手権大会（2015／北京）の参加資格が得られることから、強化上重要な競技会となる。
種目は複数あるが、4×100mリレーと4×400mリレーを重点的に扱う。
締切日が未定であることから、春のシーズンが始まる前に期日が設定された場合は、強化委員会が総体的に判断して代表選手を決定する。
世界リレー選手権大会の代表選手は、今後編成されるナショナルリレーチームから原則選考する。

《報告事項》

1. 第14回世界陸上競技選手権大会（2013／モスクワ）結果報告
原田強化委員長より報告があった。目標はメダル1、入賞5に対し

て、結果はメダル1、入賞7を獲得して目標を果たせた。

マラソンは、ここ数年苦戦を強いられてきたが、女子マラソンの福士選手の銅メダル、木崎選手の4位をはじめ、男子マラソンの中本選手の2大会連続入賞となる5位入賞など、日本選手の暑熱対応の高さを見ることができた。

男子ハンマー投では、室伏選手がオリンピックの翌年というベテランにとってコンディショニングの難しい年に6位入賞を果たし、持ち味を十分に発揮した内容であった。

棒高跳の山本選手、20km競歩の西塔選手など、リオデジャネイロオリンピックまで期待が持てる選手の台頭は大きな収穫であった。昨年のロンドンでは悔しい思いをした二人ではあったが、国際大会への派遣を通じて力をつけ、1年後に結果を出した点は評価したい。

2. 国際競技会結果報告

- （1）第20回アジア陸上競技選手権大会（2013／ブネー）結果報告
アジアのレベルは高くなってきている中、20個のメダルを獲得できた。
- （2）第8回世界ユース陸上競技選手権大会（2013／ドネツク）結果報告
入賞19と過去最高の結果を残せた。東京オリンピックを考えるとこの世代の育成が必須となる。
- （3）第2回アジアユースゲームズ（2013／南京）結果報告
10名の選手を派遣し、金メダル4個、銀メダル4個、銅メダル2個を獲得した。来年開催される第2回ユースオリンピックゲームズのプレ大会として行われた。
3. 第20回アジア陸上競技連盟総会報告
尾縣専務理事からアジア陸上競技連盟の役員選挙について報告があった。田中克之氏が副会長にトップ当選した。専門委員として、日本から5名を推薦して全員が当選した。
4. 第49回国際陸上競技連盟総会報告
尾縣専務理事から、報告があった。
 - ①世界選手権とオリンピックのABあった参加標準記録を一本化する。
 - ②ドーピング違反に伴う競技会出場停止期間を2年から4年に変更する。
 - ③女子マラソンの世界記録を女子単独レースと男女混合レースの2つにする。
 - ④世界ユース選手権の男子混成競技を八種から十種にする。
5. 第21回世界ハーフマラソン選手権大会（2014／コペンハーゲン）選考競技会
尾縣専務理事より、世界ハーフマラソンの選考競技会の報告があった。

隔年開催となるこの競技会は、例年10月開催だったが、今後3月開催へ変更になった。

選考競技会にドーピング検査を行っていない競技会が入っているため、今後検討することとなった。

6. 第12回アジアクロスカントリー選手権大会 開催概要

尾縣専務理事より、今年度開催の福岡国際クロスカントリー大会と同時開催される、第12回アジアクロスカントリー選手権大会の開催要項が報告された。

7. 2014年度後援競技会

尾縣専務理事より、2014年度4月から6月の後援競技会として、継続10競技会、新規1競技会が承認となったことの報告があった。

2014年度より使用される、主催競技会と後援競技会のシンボルマークも報告された。

8. コンプライアンス委員

尾縣専務理事より、一任されていた委員長1名、委員10名の報告があった。

9. その他

吉儀競技運営委員長より、2014年度より公認審判員証の変更と審判登録者へ配布されることが報告された。

2014年度主要競技会日程(案)

	主 催 大 会			国 際 大 会		
	期 日	大 会 名	場 所	期 日	大 会 名	場 所
4月	20(日) 20(日)	98 日本選手権50km競歩 16 長野マラソン	石川 長野		19 世界学生クロスカントリー	
5月	31(土)～6/1(日) 31(土)～6/1(日)	ゴールデングランプリ 98 日本陸上競技選手権混成 30 日本ジュニア選手権混成	長野市営(長野) 長野市営(長野)	3(土)～4(日) 24(土)～25(日)	アジアGP アジアGP アジアGP 26 ワールドカップ競歩 1 世界リレー選手権	太倉(中国) ナッソー (バハマ)
6月	6(金)～8(日)	60 全日本中学通信陸上 98 日本陸上競技選手権	各地 とうほう・みんな のスタジアム (福島)		16 アジアジュニア陸上競技選手権	
7月	30(水)～8/3(日)	67 全国高校陸上	小瀬(山梨)	22(火)～27(日)	15 世界ジュニア陸上競技選手権	ユージーン (アメリカ)
8月	8(金)～10(日) 17(日)～20(水) 20(水)～21(木) 22(金)～23(土) 30(土)～31(日)	49 全国定通制高校陸上 41 全国中学陸上 49 全国高専陸上 30 全国小学生陸上 2 全国高校陸上選抜	駒沢(東京) 丸亀(香川) 宿毛(高知) 日産スタジアム (神奈川) 長居第2(大阪)	12(火)～27(水) 23(土)～29(金) ※全体会期	2 ユースオリンピック 21 日・韓・中ジュニア交流競技会	南京(中国) 北上(岩手)
9月				13(土)～14(日) 19(金)～23(祝・火) 19(金)～10/4(土) ※全体会期	2 コンチネンタルカップ 18 アジアマスターズ 17 アジア競技大会	マラケシュ (モロッコ) 北上(岩手) 仁川(韓国)
10月	3(金)～5(日) 3(金)～5(日) 18(土)～22(水) 31(金)～11/2(日) 31(金)～11/2(日)	30 日本ジュニア選手権 8 日本ユース選手権 69 国民体育大会 98 日本選手権リレー 45 ジュニアオリンピック	瑞穂(愛知) 瑞穂(愛知) 県立総合(長崎) 日産スタジアム (神奈川) 日産スタジアム (神奈川)			
11月	16(日) 23(祝・日)	6 横浜国際女子マラソン 14 国際千葉駅伝	神奈川 千葉			
12月	7(日) 13(土)～14(日) 14(日) 21(日)	68 福岡国際マラソン 17 小学生クロスカントリーリレー 22 全国中学駅伝 65 26 全国高校駅伝	福岡 万博記念公園 (大阪) 山口 京都			
2015 1月	11(日) 18(日) 25(日)	33 都道府県対抗女子駅伝 20 都道府県対抗男子駅伝 34 大阪国際女子マラソン	京都 広島 大阪			
2月	8(日) 15(日) 21(土) 22(日)	50 千葉国際クロスカントリー 98 日本選手権男女20km競歩 29 福岡国際クロスカントリー 15 東京マラソン	昭和の森(千葉) 兵庫 海の中道海浜公園 (福岡) 東京			
3月	1(日) 8(日) 15(日)	70 びわ湖毎日マラソン 15 名古屋ウィメンズマラソン 39 全日本競歩能美	滋賀 愛知 石川	15(日) 28(土)	15 アジア陸上競技選手権・20km競歩 41 世界クロスカントリー	能美(石川) 貴陽(中国)

15 日本ジュニア室内大阪 大阪城ホール(大阪)

*主要競技会日程は、2014年3月開催の理事会で最終承認されます。

強化関連情報

強化委員会

第40回全日本中学校陸上競技選手権大会報告

強化委員会強化育成部長 山崎 一彦

第40回全日本中学校陸上競技選手権大会が8月19日から22日まで愛知県名古屋市中で開催された。

競技会の記録的な成果として、男子走幅跳の趙振選手（盾津中・大阪）が中学歴代3位、7m22の大会新記録、女子も1500mで高橋ひな選手（山陽中・山口）が中学歴代4位、4分21秒00の好記録でMVPを獲得した。また、全日中の歴史的背景から混成種目を奨励するウィッシュマン賞は、男子において谷藤克樹選手（木川中・千葉）、女子において川口真弥選手（古江台中・大阪）に贈られた。また、ほとんどの優勝記録は、高校生にも負けず劣らない記録であることは間違いないだろう。また、観客席が参加中学校の生徒、関係家族で埋め尽くされる光景は、良くも悪くも日本独自のものであることは認識したい。このような組織的競技から生まれる男女4×100mリレーは、おそらくU15カテゴリーにおいて世界一の技術レベルであることは間違いない。

特定種目の記録向上から言えること

特に男子スプリント、3000m、女子1500mの上位記録は近年軒並み向上していることがうかがえる。中学校の陸上競技部がある学校の割合は約60%である。これを異なる視点で置き換えてみると、陸上競技指導者の減少が明るみになっている（競技者育成プログラム：P44）ということとなる。推測の域ではあるが、フィールド種目が伸び悩んでいるのも、専門的知識を持った指導者が指導現場にいないことから、比較的指導の導入が容易であるスプリント種目や駅伝競走のある長距離にシフトしてしまうことも推察できるだろう。依然として指導者の質向上が課題となっていることは明らかである。そのため、市および県レベルでの専門指導者との伝達講習会や練習会を増やして地域および県レベルでの指導サイクルを積極的に入れなければならないだろう。

2020東京オリンピックを担うタレントたち

9月7日（現地時間）に東京で2020年にオリンピックが開催されることが決定した。本大会はその決定前に開催されたが、この中から7年後、何人かが地元開催の中で歓声を浴びながら出場する選手たちとなることを想像したい。7年後となると中学3年生は22歳となる。22歳以下のリレー種目を含めた参加者は北京オリンピックで8名、ロンドンオリンピックでは11名であった。いささか乱暴な数値であるが、選手団を形成した場合、約20%から25%が参加できる可能性を秘めていることになる。

タレント育成を強化すること

それでは、この中から名前を挙げて7年後のオリンピックを見据えて強化することが容易であるか否かと言えば否であ

ることが言える。競技者育成プログラムで指摘されている通り、中学校期に全国大会入賞者890人を対象にして、シニアレベルまで競技水準を維持できたのは17.1%に過ぎない（競技者育成プログラム：P34）。回答率が49.3%であり、すでにトップ選手から淘汰された選手の数がどのくらいアンケートに答えたかは不明であるため、実際の数値はこれ以上少なくなる可能性があるものの、成績上位の選手を中心に強化育成をしてしまう場合、将来日本を代表する選手を排除する恐れがある。したがって、中学校時点での成績上位者からタレント発掘をするというのも困難である。そのため、今後は優秀な成績を取めた選手のタレント発掘をするというイメージではなく、全国大会出場者または県入賞レベルでの大きな枠で、タレント発掘ではなくタレント育成をしていかなければならないだろう。

今後の中学校における競技会

中学期は強化ではなく普及および育成であることから、重要なことは記録ではない。重要なことは、全国の選抜された中学生が順位を競い合い、「勝ち」と「負け」を決めることで学んでいくことが重要である。更に重要なことは、「好き」を継続することである。これらは中学校の指導現場でも陸上競技全体像からみた育成および強化という部分からも本質であるといえよう。このようなことから、オリンピック開催決定を契機に、今後の全日本中学を開催するにあたり、大会自体の本質を捉えた勝敗制度や普及の観点から地域格差をどのようにみていくかなど視点を変えた競技運営を考えていく必要があると言える。今後は東京オリンピックまたはそれ以降につながる育成策を協調しながら考えていければよいと感じた。

第21回日韓中ジュニア交流競技会に参加して

陸上競技選手団監督 正川 澄夫

第21回日韓中ジュニア交流競技会は、中国・山東省濰坊市中で開催された。山東省は、中国東部の沿岸（黄河の下流）の北京と上海の中間に位置し、その濰坊市は人口845万人の食品工場が多い農業の街である。参加者は、日本体育協会を本部とする11競技、役員・選手計244名の日本選手団である。陸上競技は、北部九州総体の成績から選考された男女各11名と役員3名の25名である。

8月22日（木）夕方、日本選手団は関西空港近くの宿舎に集合し、指導者ミーティング、陸上競技選手団ミーティングを行った。日本の高校生トップアスリートの集まりであり、選手達はあっという間に会話ははずみ、みんな親しく一つのチームジャパンとなることができた。生活態度や競技に対する姿勢・取り組みにおいても意識が高く、テキパキと動き、

時間に対しても厳しく、日本代表として申し分ない選手達である。

8月23日(金) 関西国際空港→中国・青島流亭国際空港)チャーター便にて2時間45分で到着し、バスで2時間少しかけて宿舎に到着。公害の影響のためか遠くが見えず、空気はどんよりした感があり、選手はマスクを着用した。

8月24日(土) 会場は2009年に完成したオリンピック公園陸上競技場で、悠々の大地を踏みしめた感動を味わいながら、練習開始。身体を躍動させ、股関節を動かし基本動作や感覚的な世界に集中していた。15:30監督会議では、日本側からの要望(タイムテーブルや走高跳バーの上げ方等)はすべて了承してくれた。19:30、3ヶ国全競技選手による開会式(富華国際会議)に出席。「友情・進歩・未来の趣旨を実現させ、相互理解と友情増進を促し、アジア競技レベルの向上を願う」等の挨拶があり決意を新たにしていた。

8月25日(日)・27日(火)(競技会)第1日目は23種目中14種目、第2日目は17種目に優勝し、圧倒的な強さを示した。競技会では、自己の内面や言葉の壁と戦いながらも、笑顔の絶えないチームワークの良さ、謙虚さ・感謝の態度が肌で感じられ、選手団の質の高さがうかがえた。各自、語学力と適応力、及び今後の自己の課題を明確にし、秋季の競技会に意欲を燃やしていた。

8月26日(月) 午前は疲労回復を図りつつ、動作の動きづくりや技能・技術の向上を図った。午後はフレンドシップで日本代表としての「出しもの」を行うための練習に励んだ。夜のミーティングでは、会話ができるように語学研修(中国語・韓国語)を実施した。ミーティングは毎日実施し、掲示板活用で全体への連絡を図り、飲料水や果物は本部前通路で自由に持っていけるようにした。

8月27日(火) 19:30フレンドシップ交流会では、出演5番目で陸上競技選手全員による曲に合わせたパフォーマンス(踊り)を披露し、会場から大歓声と拍手喝采を浴びた。

8月28日(水) 3ヶ国全員による見学研修は、世界最大級の恐竜の遺跡(ドラゴンパーク)見学であった。

8月29日(木) (中国・青島流亭国際空港→関西国際空港)関西空港で解散。

最後に、この交流会を通じて、選手達は自国文化の再認識と、異文化理解と尊重、及び友愛の念を持ち、競争し合った相手と友情を育む機会を得る場を得て、本大会が良き思い出として記憶に残る大会であり、今後の競技生活の大きな糧になることを確信する。また、自己の今後の課題に向かって、さらに飛躍することを祈念する。また、現地では通訳として2名の大学生が帯同し、早朝から親切丁寧に、一生懸命に動き回ってくれたことに感謝する。さらに、日本体育協会・日本陸連・全国高体連陸上競技部、及び中国体育協会・濰坊市体育協会の皆様方に厚く御礼申し上げる。特に、陸上競技選手団の団長：坂一郎、コーチ：村田勇、トレーナー：井上直生、事務局に心から感謝申し上げます。

第1回世界リレー選手権大会(2014/ナッソー)に向けたナショナルリレーチームの編成について

新しく開催されることが決定した標記大会は、2015年に開催される世界陸上競技選手権大会(2015/北京)(以下、北京世界選手権)の予選となり、2015年に開催される第2回大会は、翌年に開催される第31回オリンピック競技大会(以下、リオデジャネイロオリンピック)の出場権に直接的につながる大会となる。本大会は、リレー種目にとって目標となるリオデジャネイロオリンピックへと続く起点となり、強化戦略上重要な意味を持つ大会となる。

強化委員会は、世界リレー選手権大会を重要国際競技会と位置づけ、大会に向けては競技者のリレーへの適性などを熟知し、特性を見極めた上でベストメンバーを派遣したい。

そのために、大会に向けてナショナルリレーチームを編成し、北京世界選手権及びリオデジャネイロオリンピックに向けた強化を推進する。

1. ナショナルリレーチーム編成のための参考競技会

(1) 2013年度・2014年度日本陸上競技連盟主催大会及び後援大会

(2) 第6回東アジア競技大会(2013/天津)

2. ナショナルリレーチーム選抜方法

上記の参考競技会の結果から、強化委員会でリレーの特性を考慮しナショナルリレーチームを編成する。

また、世界リレー選手権大会は、原則ナショナルリレーチームに属する競技者から選考される。

3. ナショナルリレーチーム編成時期

2013年11月中旬に上記参考競技会の結果を基に、選抜方法に準じて編成する。

第1回世界リレー選手権大会(2014/ナッソー)代表選手選考方針

1. 大会概要

(1) 開催期日 2014年5月24日(土)・25日(日)

(2) 開催場所 ナッソー(ノバハマ)

(3) 種目 男女4×100mリレー、男女4×400mリレー、男女4×200mリレー、男女4×800mリレー、男女4×1500mリレー

(4) 参加資格(男女4×100mリレー及び男女4×400mリレー)

1) 参加標準記録 参加標準記録(世界ランキング16傑相当)を満たせば参加資格を得る。

2) ワールドリスト 1) 以外は、最大24チームまでを国際陸上競技連盟(以下、IAAF)がワールドリストから選出する。

(5) その他

男女4×100mリレー及び男女4×400mリレーについては、各リレー上位8チームに第15回世界陸上競技選手権大会(2015/北京)(以下、北京世界選手権)の参加資格が与えられる。

2. 編成方針

北京世界選手権の出場権の早期獲得を第一目標とする。

また、リオデジャネイロオリンピックに向けた強化戦略上必要とされるチームを派遣する。

3. 派遣基準

下記の条件を満たした場合、代表チームを派遣する。

(1) 男子4×100mリレー

- ・IAAFが定める参加標準記録を満たす。
- ・IAAFのワールドリストから選出される。

(2) 男子4×400mリレー

- ・IAAFが定める参加標準記録を満たす。
- ・IAAFのワールドリストから選出された場合は、派遣候補者個々のパフォーマンスから判断し、強化委員会にて代表チームの派遣を検討し、決定する。

(3) 女子4×100mリレー・女子4×400mリレー

- ・IAAFが定める参加標準記録を満たす。
- ・IAAFのワールドリストから選出された場合は、派遣候補者個々のパフォーマンスから判断し、強化委員会にて代表チームの派遣を検討し、決定する。

(4) 男女4×200mリレー、男女4×800mリレー、男女4×1500mリレー

- ・派遣候補者となる競技者の個々のパフォーマンスから検討し、強化戦略上必要と判断した場合、強化委員会にて代表チームの派遣を検討し、決定する。

4. 代表選考手順

ファイナルエントリーの締切日と「2014日本グランプリシリーズ」及び「第68回出雲陸上競技大会」の開催時期により、下記の手順で選考する。原則、男女4×100mリレー及び男女4×400mリレーの代表選手は、ナショナルリレーチームに属する競技者から選考される。

(1) ファイナルエントリー締切日が上記2大会より後の場合
ナショナルリレーチームに属する競技者の上記2大会の結果や、トレーニング状況から総合的に判断し、強化委員会にて派遣する選手を決定する。

(2) ファイナルエントリー締切日が上記2大会より前の場合
ナショナルリレーチームに属する競技者から「ナショナルリレーチーム編成のための参考競技会」の結果や、トレーニング状況から総合的に判断し、強化委員会にて派遣する選手を決定する。

5. 補足

(1) 世界リレーにおいて決勝進出したリレー種目（男女4×100m・男女4×400m）は、第16回アジア競技大会（2014／仁川）の種目エントリーを内定する。

(2) 第16回アジア競技大会（2014／仁川）のリレー種目の特性から選考される代表選手は、世界リレーに派遣された競技者（男女4×100m及び男女4×400m）から選考する。

(3) ただし、北京世界選手権のエントリースタンダード公表後、状況によって派遣を見送る場合もある。

砲丸投クリニック（回転投げ）

受講者募集

この度、昨年に続き砲丸回転投げクリニックを下記の要項に沿って開催致します。内容は、講義および実技指導を予定しており、講師には昨年に続きドン・バビット氏を招き開催します。また氏に指導を受けロンドンオリンピックで銅メダルを獲得した、リース・ホッフア選手も参加予定です。

日本の砲丸投強化を進める一環とし、砲丸回転投げを中学・高校の段階で始められる環境作りがまずは必要と考え、指導者の方々にお集まり頂き、講義・実技指導に参加していただければと思っております。

今回も、砲丸回転投げで日本ランキング入りしている選手への直接指導も予定しております。

指導者皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【開催要項】

主催：公益財団法人日本陸上競技連盟

運営：公益財団法人日本陸上競技連盟
強化委員会 投擲部

日時：2013年11月16日（土）・17日（日）

会場：味の素ナショナルトレーニングセンター
陸上競技トレーニング場 及び 研修室

参加者：中学・高校・大学・実業団の指導者 定員100名

参加費：無料

申込方法：2013年10月25日メ切（それ以前に定員に達した場合はお断りすることも有ります。）

下記アドレスに、必要事項をメールで申し込み。

申し込み先：spdthtjt@jaaf.or.jp

申し込み必要事項（下記の情報をメールにてお知らせください）：

1. 申込者氏名／
2. 申込者所属／
3. 申込者携帯番号／
4. 申込者住所／
5. 参加予定人数／
6. ドンコーチへの質問

スケジュール：調整中（決定次第日本陸連ホームページ内でご案内いたします。）

<http://www.jaaf.or.jp/athlete/info/2013/kyoka-clinic.html>

講師：Don Babbitt（ドン・バビット）

招待選手：Reese Hoffa（リース・ホッフア）※予定

ロンドンオリンピック アメリカ代表

男子砲丸投 銅メダリスト

自己記録：22m43

問合せ先：公益財団法人日本陸上競技連盟

（10：00～18：00）

担当：平野 TEL：03-5321-6580

※研修内容に関する内容は、下記のアドレス宛にお問い合わせください。spdthtjt@jaaf.or.jp

アジア陸上競技連盟(AAA)総会 / 国際陸上競技連盟(IAAF)総会 報告

事務局

【第20回アジア陸上競技連盟総会】

インドのブネー市で開催された第20回アジア陸上競技選手権大会に先立ち、アジア陸上競技連盟(AAA)の総会が、加盟45カ国地域から出席して2013年7月1日に行われた。本連盟からは、AAA副会長として田中克之国際委員長、総会代表として尾縣貢専務理事と風間明事務局局長が参加した。

今回の総会は、役員改選が、主要内容であった。

理事選挙には、日本からは、国際陸上競技連盟(IAAF)の理事でもある本連盟国際委員会の田中克之委員長が副会長に立候補し、最高得票で再選を果たした。

会長選挙は、10年にわたり現職にあったインドのカルマディ氏を、IAAF副会長でもあるカタールのアルハマド氏が、2票差で破り新会長に就任した。

理事選挙の結果はつぎの通り。

会長 Dalan Al-Hamad (カタール)

第一副会長 Du Zhaoai (中国)

副会長(5名) 田中克之(日本) / Surapong Ariyamongkol (タイ) / Alexey Kondrat (カザフスタン) / Eidy Alijani (イラン) / Tigor Tanjung (インドネシア)

事務総長 Maurice Nicholas (シンガポール)

理事 Rabi Rajkarnikar (ネパール) / Oh Don Jin (韓国) / William Ko (香港) / Nasser Al-Maamari (UAE) / Hoang Manh Cuong (ベトナム) / Ching Cheng Wang (チャイニーズ台北) / R Annamalai (マレーシア) / Al Serhan (ヨルダン) / Mala Sakonhnhom (ラオス) 女性 / Alghasara (バーレーン) 女性

続いて、委員会選挙が予定されていたが、選考は理事会に一人となり、理事会で検討の結果、立候補者全員が委員に就任することに決定した。

日本から就任した委員会メンバーはつぎの通り。

技術委員会 関根春幸 / コーチ委員会 山崎一彦 / 競歩委員会 今村文男 / ロード・クロスカントリー委員会 酒井勝充 / 医事委員会 山澤文裕

今回のAAA選挙は、IAAFの選挙開催年に合わせ、2015年のアジア選手権開催時、中国の武漢で開催されるため、通常任期は4年であるが、今回選出された理事と委員については、特例で2年となる。

【第49回国際陸上競技連盟総会】

ロシアのモスクワで開催された第14回世界陸上競技選手権大会に先立ち、国際陸上競技連盟(IAAF)の総会が、IAAF加盟212のうち208カ国地域から出席して2013年8月5日～6日に行われた。本連盟からは、IAAFカウンスルとして田中克之国際委員長、総会代表として尾縣貢専務理事と風間明事務局局長が参加した。

本年は、IAAF憲章と規則の修改正について審議する4年に一度の総会であったが、初日には初めての試みとして、「IAAF陸上競技フォーラム」が行われた。

総会第2日目には、IAAFが陸上界発展への貢献に顕著な者に贈るIAAFベテランピンの授賞式が催され、本連盟の風間明事務局局長が、91年の故西田修平氏、故川田清八氏以来、日本人として22年ぶりに受章した。

フォーラム概要及び憲章・規則改正の主要改正点はつぎの通り。

IAAF世界陸上競技フォーラム

初めての試みとして、IAAF総会の第1日目にフォーラムが開催された。フォーラムでは、「ガバナンス」「倫理」「陸上競技の普及と育成」をメインテーマとして活発な議論が展開され、参加者には好評だった。風間事務局局長は、「倫理」分野でのパネリストの1人として参加し、日本陸連の倫理問題についての対応ぶりを説明した。

フォーラムのなかで、「2015年の北京世界陸上及びオリンピックへの参加方式」についてIAAFのハーシュ第一副会長がおこなったプレゼンテーションが関心を集めた。その概要は、「世界選手権とオリンピックへの参加方式について、参加標準記録を現行のAとB二本立てを一本化するとともに、各種目の総枠(規定数)のうち標準記録で75%、世界ランキングから25%の割合で出場選手を規定数に絞り込む方向で詳細を検討中である。各国からの出場種目出場人数の上限は3名、現行の地域選手権優勝者、標準記録突破者のない国の1名出場、IAAF指定大会からの出場権、前世界選手権優勝者へのワイルドカードは継続する。なお、今後、この参加方式は、世界ジュニア選手権、世界ユース選手権にも適用される可能性がある」

IAAF憲章及び規則の修改正

◆憲章

37の修改正提案のうち、13案が可決、24案が否決された。特筆するものとして、「IAAF総会の選挙で選ばれる委員会(Committee)を廃止し、理事会が任命するコミッション(Commission)に統合する」との理事会提案は、賛成票が可決に必要な3分の2に達せず否決となった。改定された憲章は、2013年11月1日から発効となる。

◆規則第1章、3章、4章

16の提案すべてが可決された。

◆規則第5章(競技規則)

110の修改正提案のうち、108案については、IAAF技術委員会の審議を経た理事会による可否が、自動的に総会承認となった。84案が可決、24案が否決。

理事会が、総会での審議が必要とみなしたつぎの2案については、両案とも可決された。

－女子マラソンの世界記録を、女子単独レースによるものと男女混合によるものの二本立てとする

－世界ユース選手権の男子混成競技を八種から十種とする

なお、あわせて可決された86案は、IAAF規則としては2013年11月1日から発効となるが、日本国内でどのように適応するかは、本連盟競技運営委員会での審議と理事会承認を経て、2014年4月1日から有効となる。

◆ドーピング規則

「ドーピング初違反での競技会出場停止期間を2年から4年に延長することをWADAに求める」提案が可決された。

今回のIAAF総会は、2015年の世界選手権開催時、中国の北京で開催され、4年の1度の役員選挙が主要内容となる。

施設用器具委員会報告(13-1)

施設用器具委員会

◆平成25年度に公認した競技場及び長距離競走路

(25.04.03～25.09.18)

8646	カントリーパークとうわ(陸) 第4種 400m 全天候 継続	二本松市針道字大町西2 2013.03.20～2018.03.19	8682	熊谷スポーツ文化公園(陸) 第1種 400m 全天候 継続	熊谷市上川上300 2013.05.01～2018.04.30
8647	ひたちなか市(陸) コード番号083120 第3種 400m 全天候 継続	ひたちなか市新光町49 2012.04.01～2017.03.31	8683	熊谷スポーツ文化公園補助(陸) 第3種条件付 400m 全天候 継続	熊谷市上川上300 2013.05.01～2018.04.30
8648	美原公園(陸) 第3種 400m 全天候 継続	大田原市美原1-15-25 2012.10.17～2017.10.16	8684	熊谷スポーツ文化公園(陸) 投てき場 継続	熊谷市上川上300 2013.03.31～2018.03.30
8649	川越(運)(陸) 第2種 400m 全天候 継続	川越市下老袋388-1 2012.04.15～2017.04.14	8685	紀三井寺公園(陸) 第1種 400m 全天候 継続 改造	和歌山市毛見200 2013.04.07～2018.04.06
8650	甲府市緑が丘スポーツ公園(競) 第2種 400m 全天候 継続	甲府市緑が丘2-8-1 2013.04.01～2018.03.31	8686	益田(陸) 第2種 400m 全天候 継続 改造	益田市乙吉町 2013.07.08～2018.07.07
8651	御殿場市(陸) 第2種 400m 全天候 継続	御殿場市茶夷沢658-4 2012.12.09～2017.12.08	8687	岡山県(陸) 第1種 400m 全天候 継続	岡山市北区いずみ町2-1-7 2013.04.12～2018.04.11
8652	びわこ成蹊スポーツ大学陸上フィールド 第3種 400m 全天候 継続	大津市北比良山1204 2013.03.18～2018.03.17	8687	岡山県補助(陸) 第3種 400m 全天候 継続	岡山市北区いずみ町2-1-11 2013.04.12～2018.04.11
8653	奈良市鴻ノ池(陸) 第1種 400m 全天候 継続	奈良市法蓮佐保山4-5-1 2013.03.31～2018.03.30	8688	下関市営下関(陸) 第2種条件付 400m 全天候 継続	下関市向洋町1-10-1 2013.06.28～2018.06.27
8654	奈良市鴻ノ池(陸)補助 第3種 400m 全天候 継続	奈良市法蓮佐保山4-5-1 2013.03.31～2018.03.30	8689	室蘭市入江(運)(陸) 第2種(B) 400m 全天候 継続	室蘭市入江町1 2013.06.01～2018.05.31
8655	大東ふれあい運動場(陸) 第3種 400m 全天候 継続	雲南市大東町養賢967 2013.04.01～2018.03.31	8690	川崎市等々力(陸) コード番号143160 第3種 400m 全天候 継続	川崎市中原区等々力1-1 2013.06.01～2018.05.31
8656	阿蘇市阿蘇農村公園あびか(陸) 第3種 400m 全天候 継続	阿蘇市黒川656 2013.04.06～2018.04.05	8691	小松市未広町2 第2種(B) 400m 全天候 継続	小松市未広町2 2012.08.01～2017.07.31
8657	多良木町多目的総合(グ) 第4種 300m 土質 継続	球磨郡多良木町大字多良木1652-1 2013.03.30～2018.03.29	8692	奥越ふれあい公園(陸) 第2種(B) 400m 全天候 継続	大野市篠原70-46 2013.06.01～2018.05.31
8658	奄美市太陽が丘総合(陸) 第4種 400m 全天候 継続	奄美市笠利町大字万屋1148-1 2013.04.01～2018.03.31	8694	坂井市古城(ハ) 丸岡体育館ふれあい広場横～A北陸自動車道下り線	21km0975 10km 往復 一部変更 継続 サービスエリア入口付近 2013.07.16～2018.07.15
8659	名瀬(運)(陸) コード番号463110 第3種 400m 全天候 継続	奄美市名瀬小宿字砂田 2013.06.15～2018.06.14	8695	福岡市平和台(陸) コード番号403170 第3種 全天候 継続 改造	福岡市中央区城内1-4 2012.11.06～2017.11.05
8660	白河市総合(運)(陸) 第3種 400m 全天候 継続	白河市北中川原地区内 2012.11.26～2017.11.25	8696	江差町民多目的広場(陸) 第4種 400m 土質 継続	檜山郡江差町字砂川225 2013.04.29～2018.04.28
8661	田村市(陸) 第3種 400m 全天候 継続	田村市船引町船引字遠表400 2013.02.19～2018.02.18	8697	サロマ湖ウルトラ(100km) B北見市常呂町ワッカ第2湖から常呂町スポーツセンター前	100km 自転車計測 循環 継続 2013.06.26～2018.06.25
8662	伊勢崎市(陸) 第2種(B)条件付 400m 全天候 継続	伊勢崎市堤西町121 2013.04.27～2018.04.26	8698	福島大学(陸) コード番号074130 第4種 400m 全天候 継続	福島市金谷川1 2013.06.01～2018.05.31
8663	高崎市浜川(競) 第2種(B) 400m 全天候 継続	高崎市浜川町1486 2013.03.31～2018.03.30	8699	川崎市等々力第二(陸) 第3種 400m 全天候 継続	川崎市中原区等々力1-1 2013.06.01～2018.05.31
8664	筑波大学(陸) 第3種 400m 全天候 継続	つくば市天王台1-1-1 2013.04.01～2018.03.31	8700	大町市(運)(陸) 第4種 400m 一部全天候 継続	大町市常盤5638-44 2013.05.27～2018.05.26
8665	日産スタジアム付設(ハ) コード番号147190 21km0975 自転車計測 周回 新設	日産スタジアム内～ 2013.03.31～2018.03.30	8701	土別(ハ) 21km0975 10km 自転車計測 周回 継続	西教寺駐車場前～中央公園前 2013.07.13～2018.07.12
8666	板橋City(長) 42km195 自転車計測 往復 継続 一部変更	荒川河川敷・板橋区戸田駅兼用野球場前 A.荒川河川敷・荒川大橋下 2013.03.01～2018.02.28	8702	松任総合(運)(陸) 第2種(B) 400m 全天候 継続	白山市倉光4-22 2013.07.25～2018.07.24
8667	高岡市宮城光寺(陸) 第2種(B) 400m 全天候 継続	高岡市城光寺登立137 2013.05.01～2018.04.30	8703	平田スポーツ公園(陸) 第4種 400m 一部全天候 継続	出雲市平田町2960-1 2013.05.01～2018.04.30
8668	諏訪湖(ハ) ～諏訪中央公園駐車場前～ヨットハーバーグラウンド内	ボレストーレイクシティー諏訪老番館前 2013.04.12～2018.04.11	8704	下関海響(長) 42km195 自転車計測 往復 継続	海峽メッセ下関前～A関門医療センター前 2013.06.01～2018.05.31
8669	瑞穂公園北(陸) 第3種 400m 全天候 継続	名古屋市長徳区萩山町3-68-1 2013.06.01～2018.05.31	8705	周防大島町公認(ハ) 21km0975 自転車計測 往復 継続	周防大島町(陸)～周防大島町蓮子ヶ浜 2013.06.07～2018.06.06
8670	加古川(運)(陸) 第1種 400m 全天候 継続	加古川市西神吉町鼎1050 2013.03.01～2018.02.28	8706	香川県明善学園スポーツセンター(陸) 第4種 300m 全天候 継続	高松市国分寺町大字国分寺字向684-1 2013.06.01～2018.05.31
8671	芦屋市総合公園(陸) 第4種 400m 土質 継続	芦屋市陽光町1-1 2013.03.31～2018.03.30	8707	とみくじ(長) コード番号447070 42km195 自転車計測 循環 新設	A国東港 B万治池 C成仙寺～国東市総合(グ) 2013.06.01～2018.05.31
8672	兵庫県立加古川河川敷(長) みよし(運)(陸)	加古川防災センター前河川敷～A加古川市 42km195 自転車計測 往復 継続 上荘町団地 B高砂市新居町蓮池 2013.04.01～2018.03.31	8708	浦添市(陸) 第3種 400m 全天候 継続	浦添市仲間1-13-1 2013.07.01～2018.06.30
8673	第2種(B)(多) 400m 全天候 継続	三次市東酒屋町敦盛493 2013.03.31～2018.03.30	8709	かさま陶芸の里(ハ) A笠間市笠間4650 B笠間市南友部503	2013.07.01～2018.06.30
8674	長崎市総合(運)かきどまり(陸) 第1種 400m 全天候 継続	長崎市柿泊町2002 2013.05.30～2018.05.29	8710	東北電力ビッグスワンスタジアム 第1種 400m 全天候 継続	新潟市中央区清五郎67-12 2013.06.14～2018.06.13
8675	長崎市総合(運)かきどまり補助(競) 第3種 400m 全天候 継続	長崎市柿泊町2002 2013.05.30～2018.05.29	8711	東北電力スワンフィールド 第3種 400m 全天候 継続	新潟市中央区清五郎67-12 2013.06.14～2018.06.13
8676	熊本県民総合(運)(陸) 第1種(B)(多) 400m 全天候 継続	熊本市東区平山町2776 2013.03.31～2018.03.30	8712	新潟医療福祉大学(陸) コード番号164230 第4種 400m 全天候 新設	新潟市北区島見町字浜原2番101外44筆 2013.05.26～2018.05.25
8677	熊本県民総合(運)補助(競) 第3種 400m 全天候 継続	熊本市東区平山町2776 2013.03.31～2018.03.30	8713	福井新聞(ハ) 21km0975 10km 往復 継続	高屋橋北交差点横～福井(運)(陸)横 2013.07.01～2018.06.30
8678	投てき場 継続	熊本市東区平山町2776 2013.03.31～2018.03.30	8714	大桑村スポーツ公園(陸) 第4種 400m 土質 継続	本曾郡大桑村大字殿1-58 2013.06.01～2018.05.31
8678	わかさじい(ハ) 21km0975 20km 10km 往復 継続	若狭町武生町道～若狭町武生野小中学校(グ) 2013.04.01～2018.03.31	8715	中津川公園(陸) 第3種 400m 全天候 継続	中津川市茄子川1683-1031 2013.05.15～2018.05.14
8679	帯広の森(陸) 第2種(B) 400m 全天候 継続 改造	帯広市南町南7線56-7 2013.05.02～2018.05.01	8716	大山町名和総合(運)(陸) 第3種 400m 全天候 継続	西伯郡大山町名和1247-1 2013.06.01～2018.05.31
8680	鶴岡市小真木原(陸) 第2種(B) 400m 全天候 継続	鶴岡市小真木原町2-1 2012.10.24～2017.10.23			
8681	古河はなもも(長) 古河市中央(運)前	古河市中央(運)前			

- 8717 熊本県立松橋高等学校運動場 宇城市松橋町久具300
第4種 300m 土質 継続 2013.06.11 ~ 2018.06.10
- 8718 大分県陸車いす(長) 大分県宇前 A 王子町交差点 B 三佐田交差点
C 久原橋交差点東から大分市営(陸) 2013.07.01 ~ 2018.06.30
42km195 自転車計測 往復 一部変更 継続
- 8719 都城(運)(陸) 都城市妻ヶ丘町42街区
第4種 400m 土質 継続 2013.06.11 ~ 2018.06.10
- 8720 鹿角市総合(運)総合(競) 鹿角市花輪宇赤坂160
第3種 400m 全天候 継続 2013.06.25 ~ 2018.06.24
- 8721 銚子半島(ハ) 銚子マリーナ前 ~ 銀座通りNTT前
コード番号127130 21km0975 10km 自転車計測 往復 新設 2013.06.21 ~ 2018.06.20
- 8722 兵庫県立明石公園(陸) 明石市明石公園1-27
第1種(B) 400m 全天候 継続 2013.07.10 ~ 2018.07.09
- 8723 札幌(ハ) 真駒内公園 ~ 大島西9丁目 ~ 真駒内セブスイハイムスタジアム
21km0975 10km 自転車計測 循環 継続 一部変更 2013.08.18 ~ 2018.08.17
- 8724 土浦市川口(運)(陸) 土浦市川口2-12-75
第4種 400m 一部全天候 継続 2013.07.16 ~ 2018.07.15
- 8725 群馬県敷島(長) 群馬県宮 ~ A グリーンロード前 B 消防学校北
42km195 10km 往復 継続 2013.07.01 ~ 2018.06.30
- 8726 安来(運)(陸) 安来市吉岡町450
第4種 400m 一部全天候 継続 2013.07.05 ~ 2018.07.04
春野総合(運)(陸) 付帯(投てき場) 高知市春野町芳原2485
投てき場 継続 2013.07.31 ~ 2018.07.30
- 8727 熊本県立熊本工業高等学校(陸) 熊本市中央区上京塚町5-1
第4種 400m 一部全天候 継続 2013.07.24 ~ 2018.07.23
- 8728 奥州前沢公認(30km) 奥州市前沢字塔ヶ崎 ~ A 前沢区宇山下 B 胆沢区南崎田
30km 21km0975 10km 自転車計測 往復 継続 一部変更 2013.06.10 ~ 2018.06.09
- 8729 会津若松市鶴ヶ城(ハ) 会津総合(運)前 ~ A 神明通り 商店街入口交差点
21km0975 自転車計測 循環 往復 継続 B 会津総合(運)前 ~ かいづ(陸) 2013.07.07 ~ 2018.07.06
- 8730 大館市長根山(運)(陸) 大館市宇東台地内
第2種(B) 400m 全天候 継続 改造 2012.09.01 ~ 2017.08.31
富津(ハ) 富津市立総合社会体育館前 ~ 東電富津火力発電所前
コード番号127140 21km0975 10km 自転車計測 循環 新設 2012.09.01 ~ 2017.08.31
- 8732 神宮外苑・絵画館同歩道(10km) 植田原文交差点前 ~ 付近(港区北青山1丁目)
コード番号137490 10km 自転車計測 周回 新設 ~ 国立竞技场(競)青山門前かいづ 2013.09.01 ~ 2018.08.31
- 8733 神宮外苑絵画館(20km歩) 神宮外苑車道周回
~ 神宮外苑絵画館・国立競技場青山門交差点
20km 15km 10km 5km 周回 継続 一部変更 2013.09.01 ~ 2018.08.31
- 8734 吹田市立(総) 吹田市竹谷町37-1
第4種 400m 一部全天候 継続 2013.10.28 ~ 2018.10.27
- 8735 天拝山(10km) 筑紫野市総合公園管理前道路
10km 自転車計測 周回 継続 ~ 筑紫野市総合公園駐輪場 2013.09.01 ~ 2018.08.31
- 8736 熊本甲佐(20km) 甲佐町役場正面玄関前
~ A 御殿町豊秋 B 甲佐町白旗 C 甲佐町赤田 ~ 甲佐町役場北側道路
20km 10km 10km 自転車計測 往復 継続 2013.09.01 ~ 2018.08.31
- 8737 「FTV ふくしま」(長) 信夫ヶ丘(競) ~ 福島市大笹生字原
42km195 自転車計測 往復 継続 2013.11.01 ~ 2018.10.31
- 8738 大町市(運)(陸)付属(長) 大町市(運)(陸) ~ A 西山 B 木崎湖
42km195 21km0975 10km 10km 自転車計測 往復 継続 一部変更 2013.08.01 ~ 2018.08.01
- 8739 至学館大学(陸) 大府市横根町名高山55
第4種 300m 全天候 継続 2013.05.14 ~ 2018.05.13
- 8740 舞鶴赤れんが(ハ) 舞鶴体育館 ~ 大波下から舞鶴赤れんがパーク
コード番号267140 21km0975 自転車計測 往復 新設 2013.07.21 ~ 2018.07.20
- 8741 大田市立第二中学校(陸) 大田市久手町刺鹿522-1
第4種 300m 土質 継続 2013.09.10 ~ 2018.09.09
- 8742 北海道(長) 大通公園4丁目 ~ 新川通田森林公園先 ~ 大通公園8丁目
42km195 自転車計測 往復 一部片道 継続 2013.08.25 ~ 2018.08.24
- 8743 南陽さわやか(ハ) 南陽市民体育館前 ~ A からころ館前 B 在家橋手前
コード番号067140 21km0975 10km 自転車計測 往復 新設 2013.09.01 ~ 2018.08.31
- 8744 世田谷246(ハ) 駒沢オリンピック公園(陸) ~
21km0975 自転車計測 循環 継続 2013.10.01 ~ 2018.09.30
- 8745 東京都板橋区立新河岸(陸) 板橋区新河岸3-1-3
第4種 250m 全天候 継続 2013.09.01 ~ 2018.08.31
- 8746 南アルプス桃源郷(ハ) 楡形総合体育館東入口 ~ 南アルプス市落合
コード番号157050 21km0975 自転車計測 循環 新設 ~ 楡形総合公園(陸) 2013.10.18 ~ 2018.10.17
- 8747 美山(陸) 糸魚川市大字大野65-1
第3種 400m 全天候 継続 2013.08.01 ~ 2018.07.31
- 8748 入善町中央公園(陸) 富山県下新川郡入善町入勝456
第4種 400m 全天候 継続 2013.08.23 ~ 2018.08.22
- 8749 能登和倉万葉の里(長) 湯つりパーク前
~ A 能登島向田町 B 能登島佐波町
42km195 自転車計測 循環 一部往復 継続 ~ 和倉温泉観光会館前 2013.08.01 ~ 2018.07.31
- 8750 栗東市野洲(運)(陸) 栗東市出庭地先野洲川河川敷
第4種 400m 全天候 継続 2013.09.01 ~ 2018.08.31
- 8751 出雲くにびき(ハ) 浜山公園(陸) ~ 大島町境橋 ~ 浜山体育館前
21km0975 10km 自転車計測 往復 継続 2013.10.01 ~ 2018.09.30
- 8752 萩・石見空港(ハ) 萩・石見空港滑走路 ~ 県立万葉公園太陽の広場
21km0975 自転車計測 往復 継続 2013.10.01 ~ 2018.09.30
- 8753 いぶすき菜の花(長) 菜の花会館前 ~ 市営(陸)
42km195 循環 継続 2013.09.19 ~ 2018.09.18
- 8754 栃木市総合(運)(陸) 栃木市川原田町760
第2種(条件付) 400m 全天候 継続 2013.09.03 ~ 2018.09.02
- 8755 慶應義塾大学日吉(陸) 横浜市港北区日吉4-1-

- 8756 加世田(運)(陸) 南さつま市加世田武田18100
第4種 400m 土質 継続 2013.09.01 ~ 2018.08.31
- 8757 日本北端「羅内・ノジャック」 羅内市中央3丁目(総合文化センター前) ~ 羅内市北海岸159
42km195 30km 21km0975 20km 10km 自転車計測 往復 継続 2013.09.15 ~ 2018.09.14
- 8758 湘南国際(長) 西湘バイパス国府本郷交差点前
~ A 片瀬海岸江ノ島入口 ~ B 西湘二宮インターチェンジ ~ 大磯プリンスホテル駐車場
42km195 21km0975 10km 自転車計測 往復 継続 2013.10.10 ~ 2018.10.09
- 8759 鳥取県立布勢総合(運)(陸) 鳥取市布勢字笹谷奥146-1
第1種(B) 400m 全天候 継続 2013.09.20 ~ 2018.09.19
- 8759-投 鳥取県立布勢総合(運)(陸) 付帯(投てき場) 鳥取市布勢字笹谷奥146-1
投てき場 継続 2013.09.20 ~ 2018.09.19
- 8760 青島太平洋(長) 宮崎県総合(運)サンマリノスタジアム外周路
42km195 自転車計測 往復 継続 ~ A 県庁前 B 青島参道横 2013.09.10 ~ 2018.09.09
- 8761 宮古島市(陸)付帯(長) 宮古島市(陸) ~ 城辺保良
42km195 自転車計測 往復 継続 2013.11.20 ~ 2018.11.19
- 8762 名護市(陸) 付属(ハ) 名護市(陸)
21km0975 10km 自転車計測 循環 継続 2013.10.05 ~ 2018.10.04
- 8763 名護市(陸) 名護市大南3-1-1
第3種 400m 全天候 継続 2013.10.05 ~ 2018.10.04

◆検定期が承認されている競技場及び長距離競走路
(2013.09.18 現在)

- [北海道] 紋別市(陸) 第4種 400m 2013.08.14 ~ 2014.08.13
- [岩手] 北上(陸) 第4種 400m 2013.04.01 ~ 2014.03.31
- [岩手] 久慈市(陸) 第4種 400m 2013.09.01 ~ 2014.08.31
- [茨城] 石岡市(運)(陸) 第3種 400m 2013.10.01 ~ 2014.03.31
- [群馬] 前橋シティ(ハ) 2014.01.06 ~ 2015.01.05
- [埼玉] 大東文化大学東松山キャンパス総合(グ) 第4種 400m 2013.08.13 ~ 2013.09.30
- [千葉] 岩名(運)(陸) 第3種 400m 2013.07.01 ~ 2014.06.30
- [千葉] 富津臨海(陸) 第3種 400m 2013.08.01 ~ 2014.03.31
- [神奈川] 荻野市中央(運)(陸) 第2種 400m 2013.04.05 ~ 2014.04.04
- [神奈川] 日産フィールド小机 第3種 400m 2013.06.15 ~ 2014.03.31
- [富山] 富山県総合(運) 第1種 400m 2013.09.30 ~ 2014.03.31
- [富山] 富山県総合(運)補助(陸) 第3種 400m 2013.09.30 ~ 2014.03.31
- [福井] 大野(ハ) 2013.12.01 ~ 2014.11.30
- [長野] 菅平広現スポーツランド(陸) 第3種 400m 2013.10.10 ~ 2013.11.30
- [京都] 京都府立西舞鶴高等学校 第2種 300m 2013.10.10 ~ 2013.10.09
- [岡山] 倉敷(運)(陸) 第4種 400m 2013.04.01 ~ 2014.03.31
- [広島] 三原(運)(陸) 第4種 400m 2013.07.01 ~ 2014.03.31
- [香川] 福清短期大学調子ヶ丘 第2種 300m 2013.02.26 ~ 2014.03.25
- [愛媛] しおあい公園伊予市民(陸) 第4種 400m 2013.11.03 ~ 2014.11.01
- [福岡] 福岡県立久留米スポーツセンター(陸) 第1種 400m 2013.07.30 ~ 2014.07.29
- 第2種 400m 2013.04.01 ~ 2014.03.31
- 第2種 400m 2013.06.20 ~ 2014.06.19
- [熊本] 熊本県立多良木高等学校運動場 第4種 300m 2013.07.07 ~ 2014.07.06
- [熊本] 九州学院(陸) 第3種 300m 2013.09.01 ~ 2014.08.31
- [宮崎] 宮崎県総合(運)第3(陸) 第3種 400m 2013.09.01 ~ 2014.08.31
- [鹿児島] 阿久根市総合(運)(陸) 第4種 400m 2012.10.08 ~ 2013.10.07

◆種別変更のあった競技場 (2013.04.08 ~ 2013.09.18)

- [福島] 福島大学(陸) 第3種 ⇒ 第4種(降格) コード番号074130
- [茨城] ひたちなか市(陸) 第2種 ⇒ 第3種(降格) コード番号083120
- [神奈川] 川崎等々力(陸) 第2種 ⇒ 第3種(降格) コード番号143160
- [福岡] 福岡市平和台(陸) 第2種 ⇒ 第3種(降格) コード番号403170
- [鹿児島] 名瀬(運)(陸) 第4種 ⇒ 第3種(昇格) コード番号463110

◆公認が廃止となった競技場及び長距離競走路
(2013.04.03 ~ 2013.09.18)

- [北海道] 札幌国際(ハ) 2013.05.21 限り
- [北海道] 北海道大学(陸) 2012.07.04 限り
- [北海道] 帯広の森(ハ) 2013.07.10 限り
- [北海道] 札幌読売(ハ) 2013.05.21 限り
- [岩手] 紫波(運)(陸) 第4種 400m 2013.10.02 限り
- [山形] 高島町中央公園(陸) 第4種 400m 2013.08.31 限り
- [福島] 新地町総合公園多目的運動場 第4種 200m 2013.03.31 限り
- [静岡] 小笠山総合(運)静岡スタジアム(ハ) 2013.03.30 限り
- [愛知] 梅村学園室内棒高跳場 2013.03.09 限り
- [滋賀] 佐川急便守山(陸) 第3種 400m 2013.01.09 限り
- [京都] 京都シティ(ハ) 2013.03.07 限り
- [高知] 室戸(長) 2013.10.31 限り
- [熊本] 熊日(30km) 2013.03.30 限り
- [鹿児島] 加計呂麻島(ハ) 2013.06.30 限り

功労章・秩父宮章・高校優秀指導者章・中学優秀指導者章・勲功章・競技者育成章

2012年度功労章、秩父宮章、高校優秀指導者章、中学優秀指導者章、2013年度勲功章、競技者育成章を、第68回国民体育大会陸上競技会の開催期間中の10月5日（土）、国体会場である味の素スタジアムで授与致しました。下記にて受章者の方々を紹介致します。

表1 2012年度・功労章
(年齢・役職等は2013年3月31日現在)

地域	都道府県	氏名	年齢	役職
東京		田中 利雄	75	東京陸上競技協会理事
近畿	兵庫	植月 正章	74	兵庫陸上競技協会会長
本部		丸山吉五郎	88	(元) 関東学生陸上競技連盟会長

表2 2012年度・秩父宮章 (年齢・役職等は2013年3月31日現在)

No	地域	氏名	年齢	役職
1940	北海道	井内 石生	77	苫小牧地方陸上競技協会 副会長
1941	東北	三浦 憲二	65	青森陸上競技協会 副会長
1942	東北	佐藤 隆	65	秋田陸上競技協会 競技部長
1943	東北	安孫子元春	70	山形陸上競技協会 顧問
1944	関東	小林 邦夫	80	土浦市陸上競技協会 参与
1945	関東	鳥羽 完司	67	高崎市陸上競技協会 副会長
1946	関東	小林 貞雄	76	埼玉陸上競技協会 評議員
1947	関東	高橋 靖	78	神奈川陸上競技協会 理事
1948	関東	流石喜久巳	83	山梨陸上競技協会 参与
1949	東京	市村 眞	85	江戸川区陸上競技協会 会長
1950	北陸	永江 庸悦	71	石川陸上競技協会 会長
1951	北陸	遠藤 鉄雄	68	福井陸上競技協会 理事
1952	東海	望月 紘一	68	静岡陸上競技協会 副理事長
1953	東海	外山 修	68	西三河陸上競技協会 普及広報副委員長
1954	東海	水野 隆夫	62	愛知陸上競技協会 理事
1955	東海	松澤 二一	59	三重陸上競技協会 理事長
1956	近畿	岡田 邦夫	61	大阪陸上競技協会 理事
1957	近畿	岡本 敏信	75	西脇市陸上競技協会 会長
1958	近畿	中窪 章二	59	奈良陸上競技協会 専務理事
1959	近畿	小串 親秀	65	和歌山陸上競技協会 副会長
1960	中国	齋藤 重徳	64	島根陸上競技協会 専務理事
1961	中国	神達 靖久	66	岡山陸上競技協会 専務理事
1962	中国	山田 好章	76	山口陸上競技協会 顧問
1963	四国	播磨 純代	69	徳島陸上競技協会 評議員
1964	四国	山添 裕一	75	高知陸上競技協会 顧問
1965	九州	徳永 憲昭	故人	福岡陸上競技協会 副理事長
1966	九州	石橋 善弘	70	長崎陸上競技協会 副会長
1967	九州	濱本 俊夫	71	大分陸上競技協会 理事長
1968	九州	前村 悟	76	鹿児島陸上競技協会 副会長
1969	本部	樋高 勇二	57	トヨタ自動車陸上競技部 監督
1970	本部	近藤 勲	77	九州学生陸上競技連盟 会長
1971	本部	織田 和雄	77	日本マスターズ陸上競技連合 副会長
1972	本部	橋本 秀樹	55	全国高等学校体育連盟陸上競技専門部 競技委員長
1973	本部	岩壁 達男	70	日本陸上競技連盟普及育成委員会 副委員長
1974	本部	伊藤 章	64	日本陸上競技連盟科学委員会 委員

表3 2012年度・高校優秀指導者章

(年齢・役職等は2013年3月31日現在)

地域	氏名	年齢	陸上の地位	指導実績			
				選手名	大会名	種目	順位
北海道	堀下 航	33	私立北海道栄高校陸上部顧問	北海道高校	全国高校総体	4×100mR	4位
青森	鈴木 俊博	36	青森陸上競技協会 強化部委員	岸本 鷹幸	全国高校総体	400mH	1位
岩手	塚田美和子	39	岩手陸上競技協会 強化委員	松村 広夢	全国高校総体	5000mW	3位
宮城	木村 康樹	51	県立利府高校陸上部顧問	山下 隆盛	全国高校総体	3000mSC	3位
秋田	笠井 猛	40	秋田陸上競技協会 強化部跳躍主任コーチ	清水 翔吾	全国高校総体	400mH	1位
山形	今野 光人	50	山形陸上競技協会 競技運営委員会審判部副部長	安部 聡子	全国高校総体	七種競技	6位
福島	鈴木 仁	45	福島陸上競技協会 強化部コーチ	田嶋 和也	国民体育大会	200m	1位
茨城	石井 敏行	54	茨城陸上競技協会 審判部員	根本 大樹	全国高校総体	ハンマー投	1位
栃木	志田 利宏	56	栃木陸上競技協会 審判部長	仁平 裕也	全国高校総体	800m	出場
群馬	中村 信勝	49	県高体連陸上競技部競技力向上委員長	大木 彩夏	全国高校総体	400m	1位
埼玉	松山 治彦	58	県立蕨高校陸上部顧問	小野 直樹	全国高校総体	800m	2位
千葉	藪中 安範	55	千葉陸上競技協会施設用器具委員	小木 萌人	日本ジュニア選手権	200m	3位

地域	氏名	年齢	陸上の地位	指導実績			
				選手名	大会名	種目	順位
東京	小林 隆雄	50	都高体連陸上競技専門部 強化委員長	森 千夏	全国高校総体	砲丸投	1位
神奈川	酒井 祐輔	52	神奈川県陸上競技協会 強化副部長	長谷川美里	全国高校総体	200m・400m	1位
山梨	御園生 陽	52	山梨陸上競技協会 スターター主任	剣持 早紀	日本ジュニア選手権	三段跳	1位
新潟	山崎かおる	51	県高体連陸上競技専門部副委員長	伊藤 太一	国民体育大会	三段跳	2位
富山	安井 末吉	49	富山陸上競技協会 常任理事	田中 伸宜	全国高校総体	円盤投	1位
石川	居村 剛士	40	石川陸上競技協会 強化部員	東方 彩稀	全国高校総体	走幅跳	5位
福井	島田 一博	49	県立大野高校陸上部顧問	奥村 浩司	全国高校総体	やり投	出場
長野	山口 誠	49	県高校競技力向上委員長	山之上ちさと	全国高校総体	やり投	5位
静岡	望月 勇志	50	県高体連陸上競技専門部委員長	長倉 由佳	全国高校総体	200m	2位
愛知	谷口 深樹	48	愛知淑徳高校陸上部顧問	片山みづ子	国民体育大会	400m	1位
岐阜	田内 功	52	多治見高校陸上部顧問	野田 涼平	世界ユース選手権	棒高跳	9位
三重	安田 覚	37	三重陸上競技協会強化委員	愛敬彰太郎	国民体育大会	400m	1位
滋賀	野木 茂樹	54	県高体連陸上競技専門部監事	川尻 涼介	日本ユース選手権	円盤投	4位
京都	山田 裕之	54	府高体連陸上競技専門部 副委員長	吉岡 康典	全国高校総体	110mH	1位
大阪	柴田 稔	60	大阪高体連陸上競技部 会計監査	松原 拓矢	全国高校総体	ハンマー投	1位
兵庫	河崎 哲生	55	兵庫陸上競技協会競技委員会副委員長	西田 文香	全国高校総体	400mH	2位
奈良	寒川 正悟	55	奈良陸上競技協会 強化部員	稲森健一郎	全国高校総体	800m	3位
和歌山	鳥井 昇	52	和歌山陸上競技協会 評議員	小西 晃雄	全国高校総体	砲丸投	出場
鳥取	永代 浩孝	43	鳥取陸上競技協会 強化副部長	萩原くらら	日本ジュニア室内陸上	走高跳	1位
島根	矢野 力	51	島根陸上競技協会 理事	住友 拓海	全国高校総体	棒高跳	出場
岡山	植月 隆子	44	県立津山商業高校陸上部顧問	後藤 良徳	全国高校総体	800m	5位
広島	日浦 泰志	50	県立広島高校陸上部顧問	坪浦 諒子	全国高校総体	400mH	2位
山口	梶原 麻紀	33	県立西京高校陸上部顧問	三隅 杏奈	全国高校総体	砲丸投	1位
山形	角 浩功	42	徳島陸上競技協会 跳躍審判パート主任	中村 容子	全国高校総体	七種競技	出場
香川	古市 歩	50	香川陸上競技協会理事 強化副委員長	明石 伎奈	全国高校総体	走幅跳	出場
愛媛	福羅 史力	35	愛媛陸上競技協会 強化委員	木原 昌弥	全国高校総体	400mH	7位
高知	岡崎 大典	37	県高体連陸上競技専門部委員	岡村 幸哉	国民体育大会	200m	6位
福岡	松山 一雄	55	高稜高校陸上部顧問	刀根 大己	日本ユース選手権	800m	2位
佐賀	山下 哲司	47	県立佐賀商業高校陸上競技部監督	古賀沙也加	九州陸上競技選手権大会	走高跳	1位
長崎	池下真知子	31	長崎陸上競技協会 強化部員	島田 沙絵	全国高校総体	100m	3位
熊本	上田 晃裕	34	県立高森高校陸上部顧問	本田 哲朗	全国高校総体	八種競技	3位
大分	山下 英夫	44	大分陸上競技協会 強化部員	内匠屋秀則	国民体育大会	800m	2位
宮崎	相馬 勇一	44	宮崎陸上競技協会 強化部委員	山本 大介	全国高校総体	400m	1位
鹿児島	當房 秀之	44	(元)鹿児島陸上競技協会 強化部員	野元 秀樹	全国高校総体	110mH	4位
沖縄	仲泊 栄造	60	県立名護商工高校陸上部顧問	萩堂 哲夫	全国高校総体	やり投	3位

表4 2012年度・中学優秀指導者章

(年齢・役職等は2013年3月31日現在)

地域	氏名	年齢	陸上の地位	指導実績			
				選手名	大会名	種目	順位
北海道	黒萩 徳樹	41	弟子屈町立弟子屈中学陸上部顧問	西田 健修	全日本中学	110mH	2位
青森	豊沢 琢磨	47	北五地区中体連陸上競技副委員長	中村 蒼太	ジュニアオリンピック	100m	1位
岩手	佐々木朋美	39	県中体連陸上競技専門部 強化部委員	坂本 景	ジュニアオリンピック	110mH	1位
宮城	青木 勝彦	50	県中体連陸上専門部 副委員長	松原 秀人	全日本中学	200m	2位
秋田	倉田 泉	52	秋田陸上競技協会 審判員	門間万有香	全日本中学	走高跳	1位
山形	新藤 伸之	43	米沢市立第五中学陸上部顧問	村山 詩織	ジュニアオリンピック	200m	5位
福島	菅野 義広	47	県北地区陸上競技協会理事	押山 由衣	ジュニアオリンピック	100mH	5位
茨城	武田 弘	49	県中体連陸上競技専門部 強化部員	新井 拓磨	全日本中学	棒高跳	2位
栃木	大塚 聡	50	県中体連陸上競技専門部委員	能手 俊充	ジュニアオリンピック	走高跳	8位
群馬	針谷 朋之	54	高崎市立高南中学陸上部顧問	長谷川 寛	全日本中学	1500m	1位
埼玉	生原 彰	50	埼玉陸上競技協会 理事	志田 佳彦	全日本中学	200m	2位
千葉	佐藤 夏	36	県小中体連陸上競技専門部 総務委員	綱川 隼人	全日本中学	200m	1位
東京	下山 良成	50	都中体連陸上競技専門部 副部長	澤田 樹里	全日本中学	四種競技	3位
神奈川	大高 幸二	54	平塚市陸上競技協会 審判員	永井 鉄也	全日本中学	砲丸投	5位
山梨	河野 豊史	43	山梨陸上競技協会 審判員	市立石和中学校	全日本中学	4×100mR	7位
新潟	本間 謙一	46	新潟陸上競技協会 強化部投擲ヘッドコーチ	白井 真美	全日本中学	走幅跳	3位
富山	濱浦 幸恵	49	富山陸上競技協会 記録情報部員	高村 真美	ジュニアオリンピック	走幅跳	7位
石川	宮崎 達也	50	県中体連陸上競技部 専門委員長	原屋 翔	ジュニアオリンピック	走幅跳	5位
福井	常廣 一類	46	(元)福井陸上競技協会 理事	吉江 紋加	ジュニアオリンピック	100m	8位
長野	長田 貴	44	県中体連陸上競技専門部委員長	土屋 翔太	北信越中学大会	400m	7位
静岡	野末 幸男	52	浜松市立入野中学校陸上部顧問	藤森 菜那	全日本中学	100mH・四種競技	1位
愛知	細井 太郎	50	岡崎市陸上競技協会 理事	竹腰 瑞樹	全日本中学	三種競技A	4位
岐阜	脇田 篤実	47	岐阜陸上競技協会 常務理事	長谷川礼奈	全日本中学	走高跳	2位

地 域	氏 名	年 齢	陸上の地位	指導実績			
				選手名	大会名	種目	順 位
三重	野呂 京司	46	伊勢市立宮川中学陸上部顧問	山根 芽衣	全日本中学	四種競技	3位
滋 賀	山下 定広	49	県中体連陸上競技専門部 専門委員	山中日菜美	ジュニアオリンピック	200m	6位
京 都	千坂 幸雄	58	府中体連陸上競技部 副委員長	田中 克好	全日本中学	800m	出場
大 阪	石田 卓也	53	大阪中体連陸上競技部 専門委員長	渡邊 浩一	全日本中学	走高跳	8位
兵 庫	東浦 一裕	52	県中体連陸上競技部 事務局	山田 傳二	全日本中学	砲丸投	1位
奈 良	村井 篤史	43	奈良陸上競技協会 強化部専門委員	木村慎太郎	全日本中学	100m	1位
和歌山	玉井 一人	60	和歌山陸上競技協会 技術部長	手平 裕紀	ジュニアオリンピック	走幅跳	出場
鳥 取	大森 浩至	52	鳥取陸上競技協会 競技副部長	土岐絵里香	ジュニアオリンピック	砲丸投	4位
島 根	木山 晴夫	46	(元) 県中体連 常任委員	市立平田中学校	全日本中学	4×100mR	出場
岡 山	木下 道也	60	県中体連陸上競技部 監事	金子明日香	都道府県女子駅伝	3km	出場
広 島	水田 孝	56	東広島市立八本松中学陸上部顧問	西条中学校	全国中学校駅伝大会		2位
山 口	岡村 賢吾	43	県中学校陸上競技部専門委員長	藤村明日香	ジュニアオリンピック	砲丸投	5位
徳 島	森根 聖晃	48	徳島陸上競技協会 A級審判員	敷田 直実	ジュニアオリンピック	砲丸投	出場
香 川	横井 恒正	40	県中体連陸上競技専門部 副委員長	古市 裕磨	全日本中学	砲丸投	1位
愛 媛	近藤 靖浩	48	今治市立今治西中学陸上部顧問	村上 昂洋	全日本中学	1500m	出場
高 知	中平 均	53	高吾地区陸上競技協会 競技部委員	林 智也	全日本中学	走高跳	5位
福 岡	竹崎キク子	49	福岡陸上競技協会 女子委員会委員	鈴木 美紗	ジュニアオリンピック	砲丸投	8位
佐 賀	力久 孝仁	38	白石町立白石中学陸上部顧問	吉岡 海玲	九州中学駅伝	1区	1位
長 崎	若杉 卓朗	32	長崎陸上競技協会 強化部員	坂口 裕之	全日本中学	3000m	1位
熊 本	松島 喜一	51	西合志中学校陸上部コーチ	中村 仁	全日本中学	棒高跳	4位
大 分	児玉 和也	33	別府市立浜脇中学陸上部顧問	山本 匠子	全日本中学	砲丸投	4位
宮 崎	國丸 泰司	46	県中体連陸上競技専門委員	重留 昂洋	全国中学駅伝	3区	1位
鹿児島	前原 成明	47	奄美市中体連 理事長	高田 康暉	ジュニアオリンピック	3000m	7位
沖 縄	玉城 健司	43	県中体連駅伝専門副部長	市立名護中学校	全国中学駅伝	男女チーム	出場

表5 2013年度・勲功章

氏 名	所 属	種 目	内 容
福士加代子	ワコール	女子マラソン	第14回世界陸上競技選手権大会(2013/モスクワ) 3位
木崎 良子	ダイハツ	女子マラソン	第14回世界陸上競技選手権大会(2013/モスクワ) 4位
中本健太郎	安川電機	男子マラソン	第14回世界陸上競技選手権大会(2013/モスクワ) 5位
新谷 仁美	ユニバーサルエンターテインメント	女子10000m	第14回世界陸上競技選手権大会(2013/モスクワ) 5位
西塔 拓己	東洋大学	男子20km競歩	第14回世界陸上競技選手権大会(2013/モスクワ) 6位
山本 聖途	中京大学	男子棒高跳	第14回世界陸上競技選手権大会(2013/モスクワ) 6位
室伏 広治	ミズノ	男子ハンマー投	第14回世界陸上競技選手権大会(2013/モスクワ) 6位
桐生 祥秀	洛南高校	男子4×100mリレー	第14回世界陸上競技選手権大会(2013/モスクワ) 6位
藤光 謙司	ゼンリン	男子4×100mリレー	第14回世界陸上競技選手権大会(2013/モスクワ) 6位
高瀬 慧	富士通	男子4×100mリレー	第14回世界陸上競技選手権大会(2013/モスクワ) 6位
飯塚 翔太	中央大学	男子4×100mリレー	第14回世界陸上競技選手権大会(2013/モスクワ) 6位
鈴木亜由子	名古屋大学	女子10000m	第27回ユニバーシアード競技大会(2013/カザン) 優勝
津田 真衣	立命館大学	女子ハーフマラソン	第27回ユニバーシアード競技大会(2013/カザン) 優勝
永山 忠幸	ワコール	—	福士加代子の指導者
林 清司	ダイハツ	—	木崎良子の指導者
山頭 直樹	安川電機	—	中本健太郎の指導者
酒井 俊幸	東洋大学	—	西塔拓己の指導者
島田 正次	中京大学	—	山本聖途の指導者
室伏 重信	—	—	室伏広治の指導者
柴田 博之	洛南高校	—	桐生祥秀の指導者
安井 年文	青山学院大学	—	藤光謙司の指導者
佐久間和彦	富士通	—	高瀬慧の指導者
豊田 裕浩	中央大学	—	飯塚翔太の指導者
金尾 洋治	東海学園大学	—	鈴木亜由子の指導者
十倉みゆき	立命館大学	—	津田真衣の指導者

表6 2013年度・競技者育成章

氏 名	所 属	内 容
安田 信昭	一般財団法人青森陸上競技協会	福士加代子の高校時代の指導者
北野 剛教	京都府立宮津高校	木崎良子の高校時代の指導者
森川 賢一	株式会社ヤマダ電機	木崎良子の大学時代の指導者
若杉 鋼洋	岡崎城西高校	山本聖途の中学と高校時代の指導者
秋山 定之	広島県立広島商業高校	西塔拓己の高校時代の指導者
高橋 和則	東広島市陸上競技協会	西塔拓己の高校時代の指導者
億田 明彦	米原市立米原中学校	桐生祥秀の中学時代の指導者
本道 慎吾	日本大学	藤光謙司の大学時代の指導者
青木 政裕	(元) 静岡市陸上教室	高瀬慧の小学校時代の指導者
石代 晃司	静岡県立清水東高校	高瀬慧の高校時代の指導者
清 尊徳	藤枝明誠高校	飯塚翔太の高校時代の指導者
佐藤 常保	(元) 藤枝明誠高校	飯塚翔太の高校時代の指導者

大会観戦ガイド

第44回ジュニアオリンピック陸上競技大会 第97回日本陸上競技選手権リレー競技大会

中学生アスリートの夢の舞台、ジュニアオリンピック！リレー日本一を決定する日本選手権リレーも同時開催！ぜひ日産スタジアムに足を運んで下さい！

▼日時：10月25日（金）～27日（日）

▼会場：日産スタジアム

神奈川県横浜市港北区小机町3300

▼アクセス：JR新横浜駅から徒歩15分、
地下鉄新横浜駅から徒歩12分、
JR小机駅から徒歩7分

▼種目：

【ジュニアオリンピック】

<男子>

区分A：100m、200m、3000m、110mJH、走高跳、砲丸投

区分B：100m、1500m、110mYH、走幅跳、砲丸投

区分C：100m、1500m、走幅跳

区分A・B・C共通：円盤投、ジャベリックスロー、4×100mリレー

<女子>

区分A：100m、200m、3000m、100mYH、走高跳、砲丸投

区分B：100m、1500m、100mMH、走幅跳、砲丸投

区分C：100m、800m、走幅跳

区分A・B・C共通：円盤投、ジャベリックスロー、4×100mリレー

*年齢区分：2013年4月1日を基準として満年齢によって、下記のとおり3区分する

A. 14歳以上～15歳未満（1998（平成10）年4月2日生～1999（平成11）年4月1日生）

B. 13歳以上～14歳未満（1999（平成11）年4月2日生～2000（平成12）年4月1日生）

C. 12歳以上～13歳未満（2000（平成12）年4月2日生～2001（平成13）年4月1日生）

【日本選手権リレー】

<男子 2種目>

4×100mリレー、4×400mリレー

<女子 2種目>

4×100mリレー、4×400mリレー

▼入場料：1,000円（1日）

※65歳以上・高校生以下無料

※当日券のみ

▼問合せ先：神奈川県陸上競技協会

TEL：045-210-9660

FAX：045-210-9667

▼大会公式ページ：

ジュニアオリンピック

<http://www.jaaf.or.jp/taikai/1091/>

日本選手権リレー

<http://www.jaaf.or.jp/taikai/1090/>

▼動画配信：

<http://japanathletics.tv/>

第52回全日本競歩高島大会 兼第17回アジア競技大会(2014／仁川) 男子50km競歩代表選手選考競技会

来年秋に韓国・仁川で開催されるアジア競技大会の選考競技会となる大会。トップウォーカーたちが高島でしのぎを削ります！

▼日時：10月27日（日）

▼会場：日本陸連公認競歩コース（2.5km周回コース）

▼主なタイムテーブル（スタート時刻）：

全日本競歩（50km） 8：00

高島競歩（20km） 一般男子8：30

一般女子8：05

▼アクセス：

東京⇄高島（山形新幹線）約2時間20分

仙台⇄山形⇄高島（仙山線⇄奥羽本線）約1時間40分

▼問い合わせ先：

高島競歩大会事務局

TEL：0238-52-4490 / 0238-52-2719

FAX：0238-52-4490 / 0238-52-5043



昨年のジュニアオリンピック



一般財団法人岡山陸上競技協会

〒700-0012 岡山市北区いづみ町2-1-11 岡山県陸上競技場内
TEL.086-214-3156 FAX.086-214-3156
<http://www.tiki.ne.jp/~oka-rikkyou/>

岡山陸上競技協会では現在、80周年記念誌の制作を行っています。昭和9年3月25日に創立した当協会は来年、80周年を迎えます。毎年の記録を集めた年誌は長年制作していますが、歴史をまとめた資料は一度も作られたことがなく、創立以来の歴史は振り返れないまま今日に至っています。このため、80周年を前に、岡山の陸上の歴史をまとめようとの機運が高まり、年度初めに記念誌の編纂を決定。石原和明副会長を中心に資料をまとめています。

80周年記念誌の主な内容は、オリンピック、世界選手権はもちろん、極東選手権、東亜競技会といった戦前・戦後の世界・アジアレベルの大会、全国大会、中国地区の大会、そして県内大会での岡山県勢の成績を集めた「記録編」と協会創立前の明治期から今日までの岡山の陸上界での出来事をもとめた「岡山の陸上の歩み」からなります。

これまで手つかずだった80年の歴史を紐解く事は地道な作業の連続です。数多くの関係書籍や研究資料、県・市町村史、新聞…といった膨大な量の資料の中から関係する記述を探し出したり、物故者が多いことから縁の方々から当時の話を聞き取るなどの作業を続け、ようやく80周年誌の骨格ができてきました。

記念誌の完成は来年4月の予定。石原副会長は「昨年の一般財団法人化で岡山陸上競技協会は新たなスタートを切った。80周年の節目を機に岡山の陸上を支えてきた多くの方々の功績を知り、誇りに思うことで、今以上に基盤力のある協会に進化することができる。大会運営、競技力向上につなげていきたい」と話しています。



一般財団法人広島陸上競技協会

〒730-0011 広島市中区基町4-1 県立総合体育館
(公財) 広島県体育協会内
TEL.082-223-3256 FAX.082-222-6991
<http://www1.ocn.ne.jp/~hrk34/index.htm>

今年の夏は、広島県にとって嬉しいニュースが続いた。高校総体においては、広島県勢として、初めての3連覇を女子100mハードルで福部真子選手（広島皆実高校）が達成した。けがと向き合う3年間ではあったが、不断の努力の成果だと、関係者一同、喜びに浸った。『大学で、もっと強くなりたい』と今後の競技生活に対する意志は固い。

世界選手権においては、西塔拓己選手（東洋大学）が初出場というプレッシャーも感じさせない粘り強さで、堂々の6位入賞を果たした。日本競歩界での6位フィニッシュは過去最高タイ。中学で目立つ選手でなくても、こつこつ練習することで高校や大学で活躍できることを証明してくれている西塔選手から、多くの中高生が元氣と勇気をもたらしている。

北海道マラソンでは、渡邊裕子選手（エディオン）が、27km過ぎに先頭に立ちそのまま独走。初優勝を飾った。西条農業高校時代はほぼ無名と言われた渡邊選手だが、実業団に入り、めきめき力をつけてきており、この広島の地からリオの星そして、東京の星を輩出できるよう、今後も選手強化に力を入れていきたい。

毎年、広島で行われる都道府県対抗男子駅伝大会に向けて、広島男子チームは、今年こそ『日本一』になるため合宿を重ね、中学生、高校生の強化に努めている。女子チームも、京都で昨年よりも上位に入れるよう、合宿を重ねている。今年は、女子チームに山田貴子監督を迎え、つながりを意識したチーム作りが進められている。駅伝シーズン本番、これからの広島チームの活躍に注目していただきたい。



一般財団法人山口陸上競技協会

〒753-0815 山口市維新公園4-4 維新百年記念公園陸上競技場内
TEL.083-920-6125 FAX.083-920-6125
<http://yaaf.jp/>

9月7日～8日、2013ジャパンパラ陸上競技大会の運営を引き受け、維新百年記念公園陸上競技場で開催しました。今年になって急遽引き受けが決まり、山口陸上競技協会としても初めて運営に携わる大会でした。

日本障害者スポーツ協会、日本身体障害者陸上競技連盟等の指導を受けながら、また、山口県障害者スポーツ協会の全面的な協力の下で無事に終えることができました。

5月には、県障害者スポーツ大会（キラリンピック）の陸上競技を、9月には、障害者陸上競技大会を開催していますが、これらの大会に比べ、パラリンピックにつながる大会のレベルの高さにも驚きました。

大会2日目の8日早朝に、2020年オリンピック・パラリンピックの開催都市が東京に決定したことから、祝賀ムードの中で大会も盛り上がりました。選手の中にも、7年後の東京を目指す気持ちが芽生えたのではないのでしょうか。

2日間で日本新記録14、大会新記録33が記録され、日本代表メンバーによる初めての4×400mリレーも行われ、パラリンピックを目指す選手たちの熱気に、改めて障害者スポーツ、障害者陸上競技の普及・強化への取り組みを考えさせられました。

7年後のオリンピック・パラリンピックで、山口県出身の選手が活躍することを期待し、選手の育成・強化を進めていきます。

(文責：専務理事 園田隆)



一般財団法人徳島陸上競技協会

〒772-0011 鳴門市撫養町大鼻島字澤岩浜6-23
TEL.088-678-7914 FAX.088-678-7921
<http://www.jaafokushima.com/>

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催が決定した9月8日、本県での競技会終了後に行われた役員会では、これを喜ぶ声と共に様々な意見が出されました。

特に県人の中からは是非代表選手を出したい、との意見が多く聞かれ、陸協内にそのプロジェクトチームをつくってはどうかというところまで意見がまとまりました。

徳島県の人口は、数年前から80万人を下回るようになり、陸協の規模もそれなりの脆弱さは否めませんが、現在、強化委員会を中心に若い指導者が多数育ってきており、インターハイや国体での活躍もかなり顕著になってきています。できることなら、是非複数での代表を本県から出したいと陸協全体が熱く意気込んでいる今日この頃です。



陸協NEWS



JAAF
KAGAWA

一般財団法人香川陸上競技協会

〒763-0053 丸亀市金倉町830番地
TEL.0877-21-5710 FAX.0877-35-9061
<http://gold.jaic.org/jaic/member/kagawa/index.htm>

6月に定時評議員会及び理事会を開催し、平成25・26年度の新役員体制などが審議され承認されました。新たに評議員として北谷静雄、理事として北野洋二、宮滝寛己、増田人志、監事として宮本征史郎が就任しました。これからもよろしくお願いします。

8月の北部九州総体では、男子棒高跳で3名、女子砲丸投で1名が入賞しました。香川のお家芸といわれる棒高跳ですが、3名もの入賞はここ数年記憶にないほどの活躍でした。また女子砲丸投では、2011年の北東北総体で2位に入った姉の山本舞選手に続き、妹の山本遥選手が7位に入賞し、姉妹での総体入賞を果たすことができました。

愛知全中では男子棒高跳で重藤慶多選手が4位に入賞しました。2014年度に香川県で開催される全中に向けて強化が進む中、1・2年生が順調に伸びてきているので、来年度の飛躍を期待するところです。

10月の国体・スポーツ祭東京2013には本県選手団として29名が参加します。この文章が掲載される頃には結果が出ていると思いますが、少しでも良い結果、納得のいく記録が残せるよう願うばかりです。

また、11月3日には「第44回香川県小学生選抜陸上競技大会」を開催します。今年度の全国小学生陸上交流大会では男子6年生100m、男子走高跳の2種目で優勝者を出しています。この大会に出場する選手の中から未来の日本代表が現れることを期待しています。

(文責：事務局長 山尾英二)

JAAF
KOCHI

NPO法人高知陸上競技協会

〒781-0311 高知市春野町芳原2485 春野総合運動公園内
TEL.088-841-9940 FAX.088-841-9940
<http://np0-kochi.sports.coocan.jp/>

今年度、高知県で全国健康福祉祭(ねんりんピック)が10月27日に開催されます。60歳以上の方々のスポーツ・文化の交流大会ですが、マラソンの部(10km、5km、3km)では高知陸上競技協会も運営のお手伝いをする事となっています。全国的に市民マラソンの普及により高齢者も含めてのランニング熱の高まりにより、一般競技者は増加しつつあります。少子高齢化がすすむなかで、一般競技者の増加は、競技界の裾野を広げるためには、大切なことです。

県協会としても、大会を多く開催していますが、初心者向けの記録会や広報をもっと拡充していかなければなりません。しかしながら、かわる人員数不足や予算の課題があります。東京オリンピック開催へ向けてスポーツ界全体の機運が盛り上がるなかで、これからのスポーツ振興の方向としては、組織や運営のありかたをもっと見直していく必要もあるのではないかと考えています。

JAAF
EHIME

一般財団法人愛媛陸上競技協会

〒790-0004 松山市大街道3-6-2 岡崎第五ビル501
TEL.089-968-2229 FAX.089-968-2231
<http://www.ehime-rikujyo.jp/>

ロシアでの世界選手権には本県出身の村上幸史選手がやり投に出場し、世界のトップで活躍してくれています。母校今治明德高校の後輩たちが彼の後を追って、追い越すべく頑張っています。

さて、現在国体会場である運動公園陸上競技場ではスタンドの改修工事が急ピッチで進んでいますが、工事の騒音で大会運営が困難になることもしばしばで、大変苦慮しています。50万人超の人口を有する松山市に、公営の陸上競技場が一つもないことが、これからの改修が進み使用制限がかかると、強化に対して大きな痛手になることは必至です。

練習会場不足、松山市内の中・高等学校での練習場所確保が困難な現状の中で、知恵を出し合って、4年後の国体に向かって普及・強化に邁進してもらっているとあります。

(文責：専務理事
中山桂)



JAAF
FUKUOKA

一般財団法人福岡陸上競技協会

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-1-1 福岡朝日ビルB2F
TEL.092-474-0002 FAX.092-474-0002
<http://www.fukuoka-marathon.com/>

8月、モスクワで開催された世界選手権では、本県安川電機所属の中本健太郎選手がマラソンで5位に入賞しました。昨年のロンドンオリンピック6位入賞に続く快挙で、本県陸上界も元気をたくさんもらえました。本当におめでとうございます。

一方、7月末から8月にかけて、小学生から高校生までの全国大会が開催されました。北部九州インターハイでは、本県から男子8種目で8人と2校、女子は4種目4人が入賞を果たしました。また、全日本中学選手権では、男子6種目に5人と1校が入賞、全国小学生交流大会では、男子が1人入賞しました。数的には、少々物足りなさを感じますが、これは今後の強化部や普及部の課題として捉え、内容を分析し、冬季トレーニングシーズンでの強化・普及に向かっていきたいと思えます。

さて、今度は12月1日に迫った第67回福岡国際マラソン選手権大会に向けて、9月3日に事務局開きを行い準備を始めています。リオデジャネイロオリンピックや7年後の東京オリンピックに向けて、日本マラソン界に「希望の星」が現れてくれることを期待しつつ、万全の準備を進めていきたいと思えます。

なお、福岡国際マラソン選手権大会の公式ホームページは次の通りです。

<http://www.fukuoka-marathon.com/>

(文責：総務部長 橋本忠志)

事務局からのお知らせ

◆◆仁川アジア競技大会に向けた戦いが始まっています！◆◆

今夏、ロシア・モスクワで開催された第14回世界陸上競技選手権大会において、女子マラソンで福士加代子選手が銅メダルを獲得、同じく女子マラソンで木崎良子選手が4位、男子マラソンの中本健太郎選手、女子10000mの新谷仁美選手が5位、男子棒高跳の山本聖途選手、男子ハンマー投の室伏広治選手、男子20km競歩の西塔拓己選手、男子4×100mリレーがそれぞれ6位に入賞しましたが、マラソン・競歩の第17回アジア競技大会（2014／仁川）選考競技会が秋から春にかけて続きます。

是非、競技場・沿道で代表をかけた熱い戦いに応援をお願い致します。

＜男子マラソン選考競技会＞	・第67回福岡国際マラソン選手権大会	2013年 12月 1日 (日) 開催
	・東京マラソン2014	2014年 2月 23日 (日) 開催
	・第69回びわ湖毎日マラソン大会	2014年 3月 2日 (日) 開催
＜女子マラソン選考競技会＞	・第5回横浜国際女子マラソン大会	2013年 11月 17日 (日) 開催
	・第33回大阪国際女子マラソン大会	2014年 1月 26日 (日) 開催
	・名古屋ウィメンズマラソン2014	2014年 3月 9日 (日) 開催
＜男子競歩選考競技会＞	・第52回全日本50km競歩高島大会	2013年 10月 27日 (日) 開催
	・第97回日本陸上競技選手権大会男子20km競歩	2014年 2月 16日 (日) 開催
	・第38回全日本競歩能美大会	2014年 3月 16日 (日) 開催
	・第98回日本陸上競技選手権大会50km競歩	2014年 4月 20日 (日) 開催
＜女子競歩選考競技会＞	・第97回日本陸上競技選手権大会女子20km競歩	2014年 2月 16日 (日) 開催
	・第38回全日本競歩能美大会	2014年 3月 16日 (日) 開催

◆◆日本選手権リレー・ジュニアオリンピックの動画を公開します！◆◆

10月25日（金）から27日（日）まで、神奈川・日産スタジアムで開催する第97回日本陸上競技選手権リレー競技大会、第44回ジュニアオリンピック陸上競技大会の動画を昨年に引き続き公開致します。激戦の模様をもう一度、お楽しみ下さい。

アクセスは <http://japanathletics.tv/> まで

※6月7日（金）～9日（日）に東京・味の素スタジアムで開催しました第97回日本陸上競技選手権大会の動画は好評公開中です！



昨年のジュニアオリンピックの様子

陸連時報編集委員

◇編集委員

横川 浩（陸連会長）
三宅 勝次（陸連副会長）
友永 義治（陸連副会長）
尾縣 貢（陸連専務理事）
原田 康弘（陸連強化委員長）
風間 明（陸連事務局長）
高橋 克実（陸上競技マガジン編集長）

◇時報編集室責任者

森 泰夫

◇時報編集担当

繁田 進
石塚 浩
木越 清信
宮田 宏
本田香代子
森谷 真咲

〒163-0717

東京都新宿区西新宿2-7-1

小田急第一生命ビル17階

公益財団法人日本陸上競技連盟 内

TEL 03-5321-6580

FAX 03-5321-6591

ウェブサイト <http://www.jaaf.or.jp/>

公式動画サイト <http://japanathletics.tv/>